

環境に関するアンケート調査結果報告書

2022 年（令和 4 年）5 月

第1章 アンケート調査概要

1 調査目的

市民・事業者の環境に関する意識を把握するため、アンケートを通じて調査を実施しました。

2 調査内容

調査の内容は、表 1-1 のとおりです。

表 1-1 調査内容

	市民	事業者				
調査対象	市内に在住する 満 18 歳以上の男女 (1,000 人)	市内の事業者 (100 社)				
実施方法	郵送配布・郵送回収による 郵送調査法及び Web 調査					
調査期間	2022 年 3 月 14 日 (月) ~ 3 月 27 日 (日)					
回収率	郵送	Web	合計	郵送	Web	合計
	28.9%	6.9%	35.8%	37.0%	3.0%	40.0%
	289 人	69 人	358 人	37 社	3 社	40 社

第2章 アンケート調査結果（市民編）

問1 あなたご自身のことについてお尋ねします。あてはまる番号を○で囲んでください。（それぞれ1つ選択）

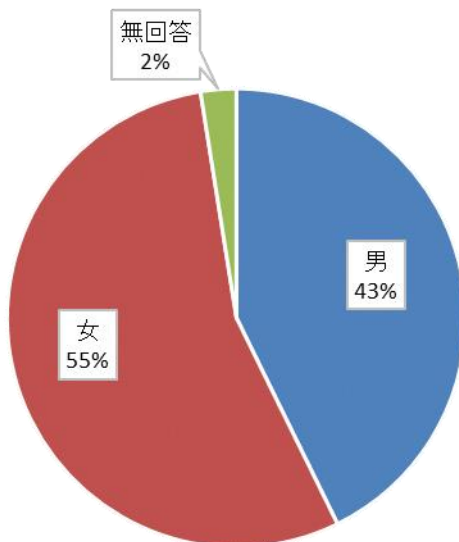


図 2-1 性別

回答割合は男性より女性の方が高く、半数を超える 55%となっています。

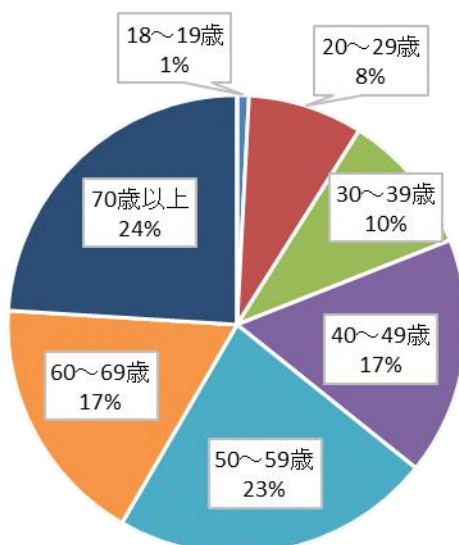


図 2-2 年齢

回答割合は70歳以上が最も高く24%、次いで50~59歳が23%となっています。
また、30歳未満は10%未満に留まっており、20~29歳が8%、18~19歳は1%という結果でした。
こちらは年齢別の対象者抽出割合に概ね準じていますが、70歳以上および50~59歳の回答割合はそれより比較的高いものとなっています。

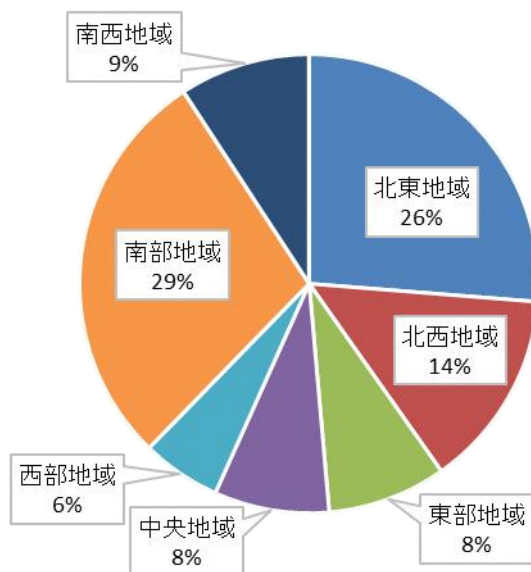


図 2-3 居住地域

回答割合は南部地域が最も高く 29%、次いで北東地域が 26%でした。その他では北西地域が 14%であり、東部地域、中央地域、西部地域および南西地域は 10%未満です。

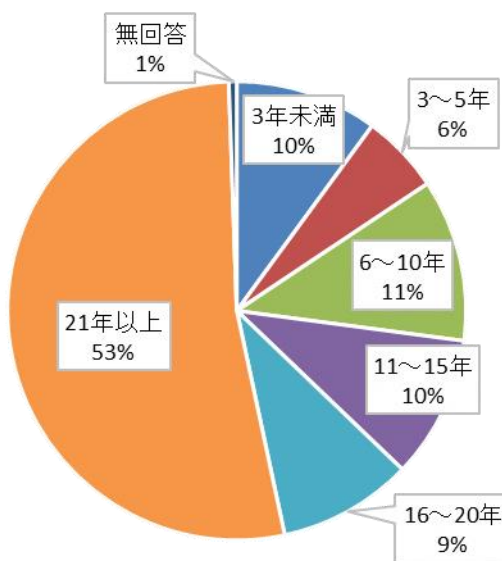


図 2-4 市内居住年数

回答割合は 21 年以上が最も高く、半数を超える 53%でした。市内居住年数が 3 年未満、6～10 年、11～15 年、16～20 年はいずれも 10%前後であり、3～5 年のみ 6%とやや低い割合となっています。

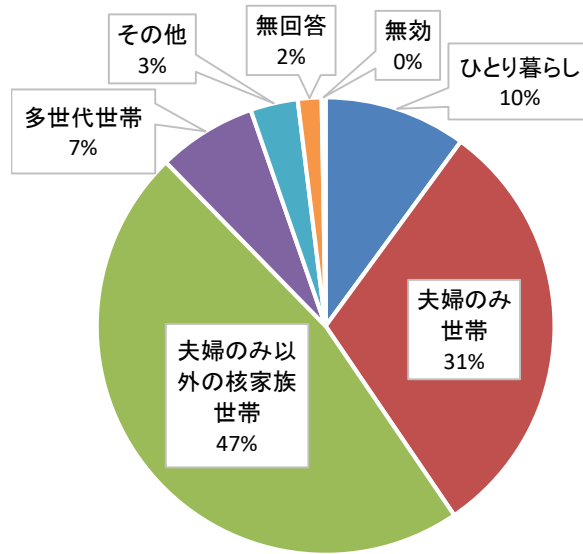


図 2-5 家族構成

回答割合は夫婦のみ以外の核家族世帯が最も高く、47%と約半数を占めます。次いで夫婦のみ世帯が 31%、ひとり暮らしが 10%、多世代世帯が 7%でした。また、その他への回答の中には、夫婦のみ以外の核家族世帯に該当すると思われるものが 5 件含まれています。

「その他」回答内容

回答内容
母、娘、弟各世帯別
子供
妹の家族と同居
母と長男（私）
両親と自分
夫婦と息子
本人と長男
夫婦と子

問2 あなたが現在住んでいる地域の環境についてどのように感じていますか。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

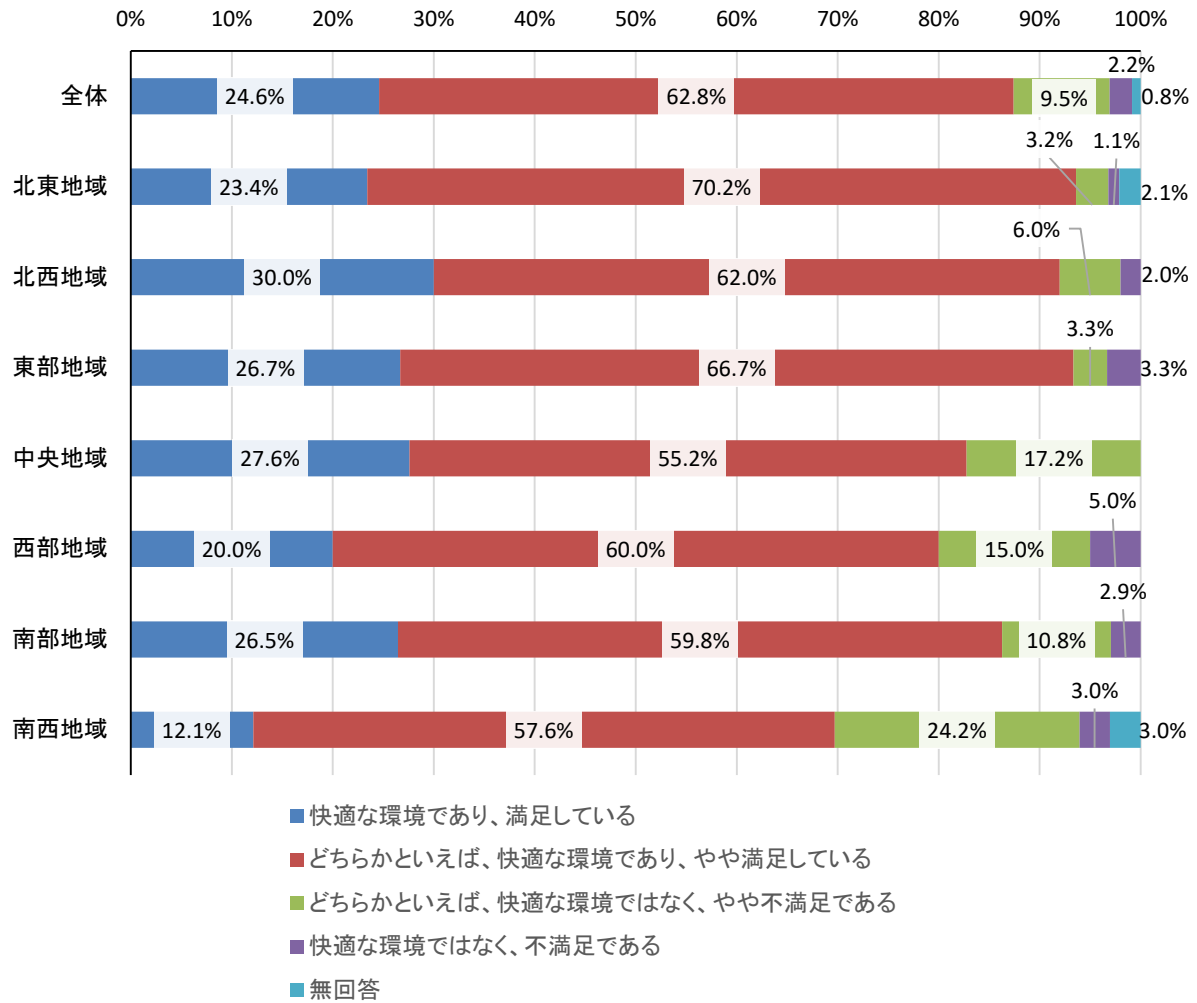


図 2-6 環境に対する満足度

地域の環境に対する満足度は、満足しているまたはやや満足しているの合計がいずれの地域でも半数を超えており、特に北東地域、北西地域および東部地域において 90%以上と高くなっています。

一方で、南西地域では 70%を下回っており、満足しているの割合も全地域で最も低い 12%に留まっています。

全体の回答割合では、2018 年（平成 30 年）の新座市民意識調査における新座市の住み心地についての回答と環境に関する満足度は概ね同じ傾向を示していることから、地域の環境に対する満足度の向上が住み心地のよさの向上につながるものと考えられます。

問3 問2でお答えいただいた理由を項目ごとに該当するもの一つ選んで○で囲んでください。

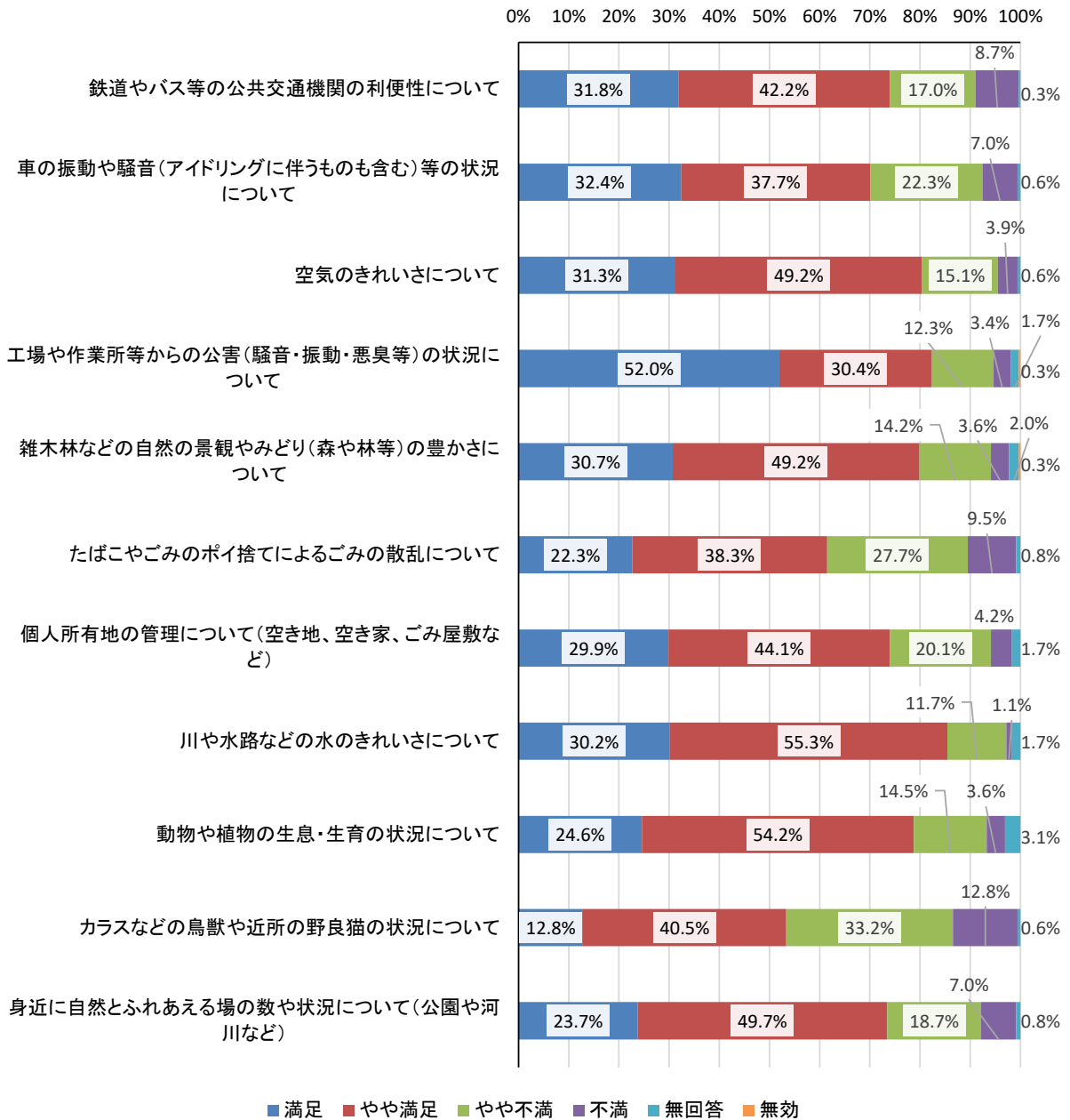


図 2-7 環境への満足度 (市域全体)

市域全体においては、「空気のきれいさについて」、「工場や作業所等からの公害(騒音・振動・悪臭等)の状況について」「川や水路などの水のきれいさについて」における満足およびやや満足の合計が80%を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「カラスなどの鳥獣や近所の野良猫の状況について」ではやや不満、不満の合計が40%以上と高くなっています。

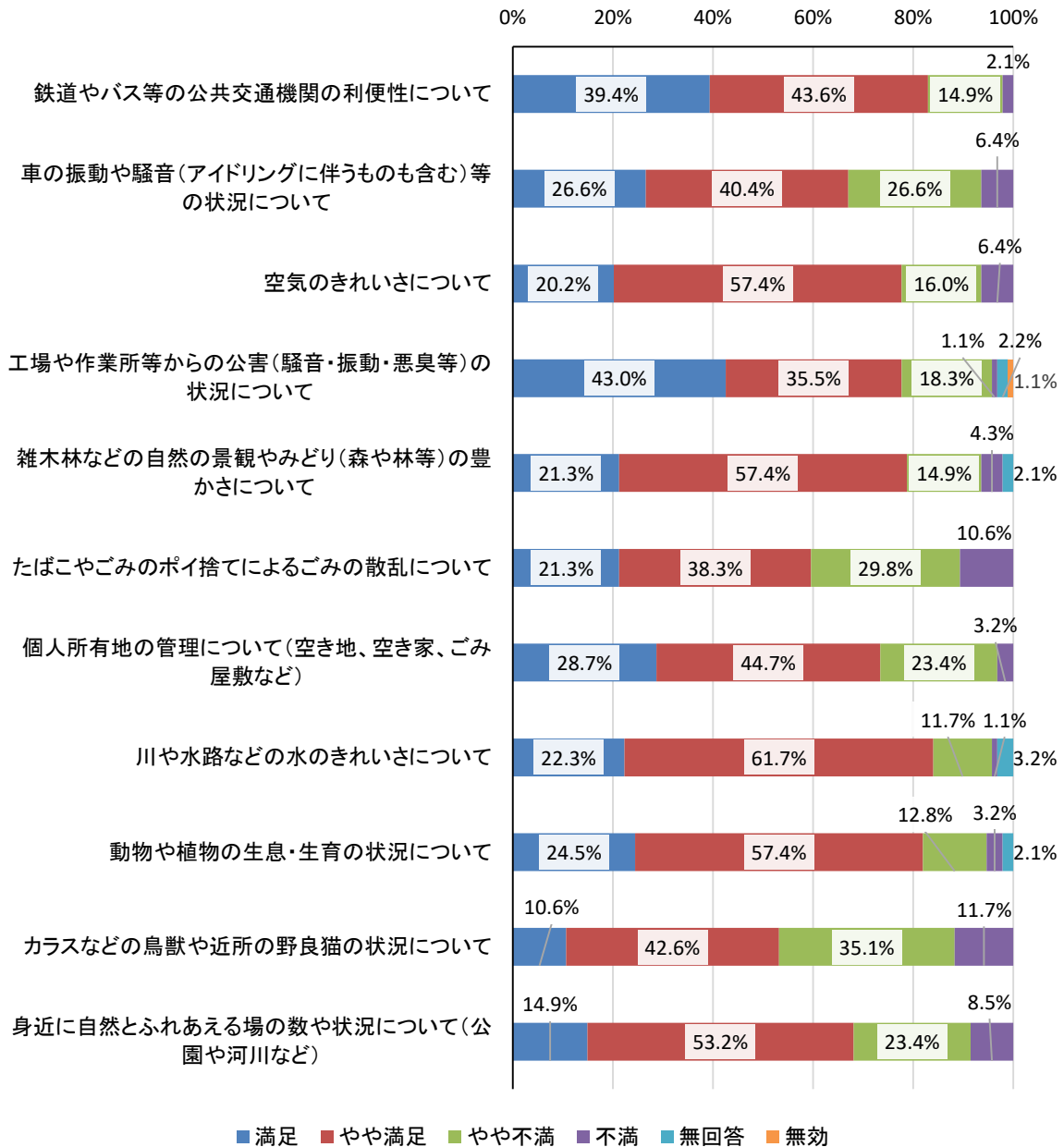


図 2-8 環境への満足度（北東地域）

北東地域においては、「鉄道やバス等の公共交通機関の利便性について」、「川や水路などの水のきれいさについて」、「動物や植物の生息・生育の状況について」における満足およびやや満足の合計が80%を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「たばこやごみのポイ捨てによるごみの散乱について」、「カラスなどの鳥獣や近所の野良猫の状況について」ではやや不満、不満の合計が40%以上と高くなっており、自由記述においても不満の理由として類似する内容が挙げられていることから、対策が望まれます。

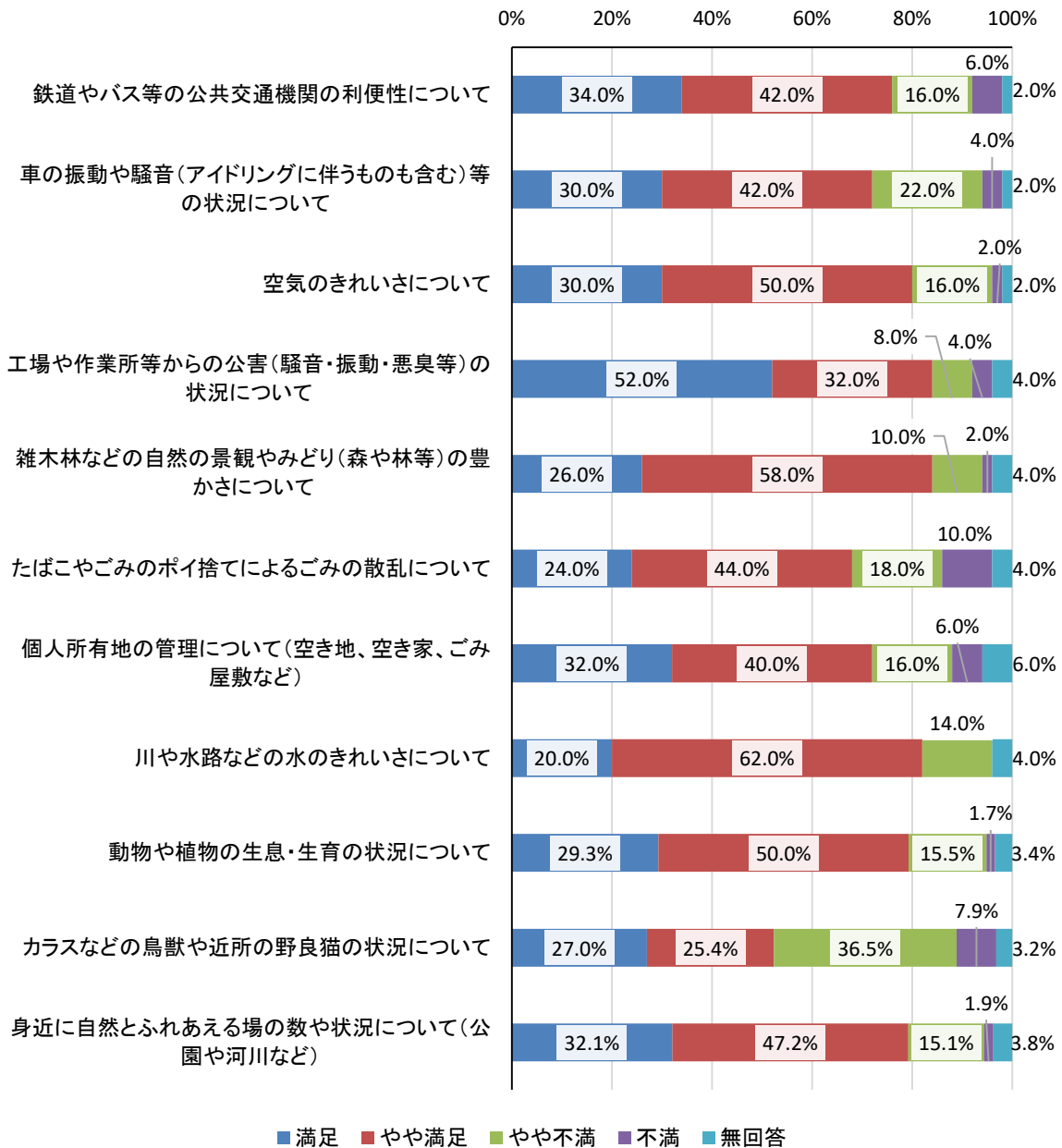


図 2-9 環境への満足度（北西地域）

北西地域においては、「工場や作業所等からの公害（騒音・振動・悪臭等）の状況について」、「雑木林などの自然の景観やみどり（森や林等）の豊かさについて」、「川や水路などの水のきれいさについて」における満足およびやや満足の合計が 80%を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「カラスなどの鳥獣や近所の野良猫の状況について」ではやや不満、不満の合計が 40%以上と高くなっています。自由記述においては、交通の不便さや大型車両による騒音振動、動物関連の問題などが挙げられており、これらへの対策が望まれます。

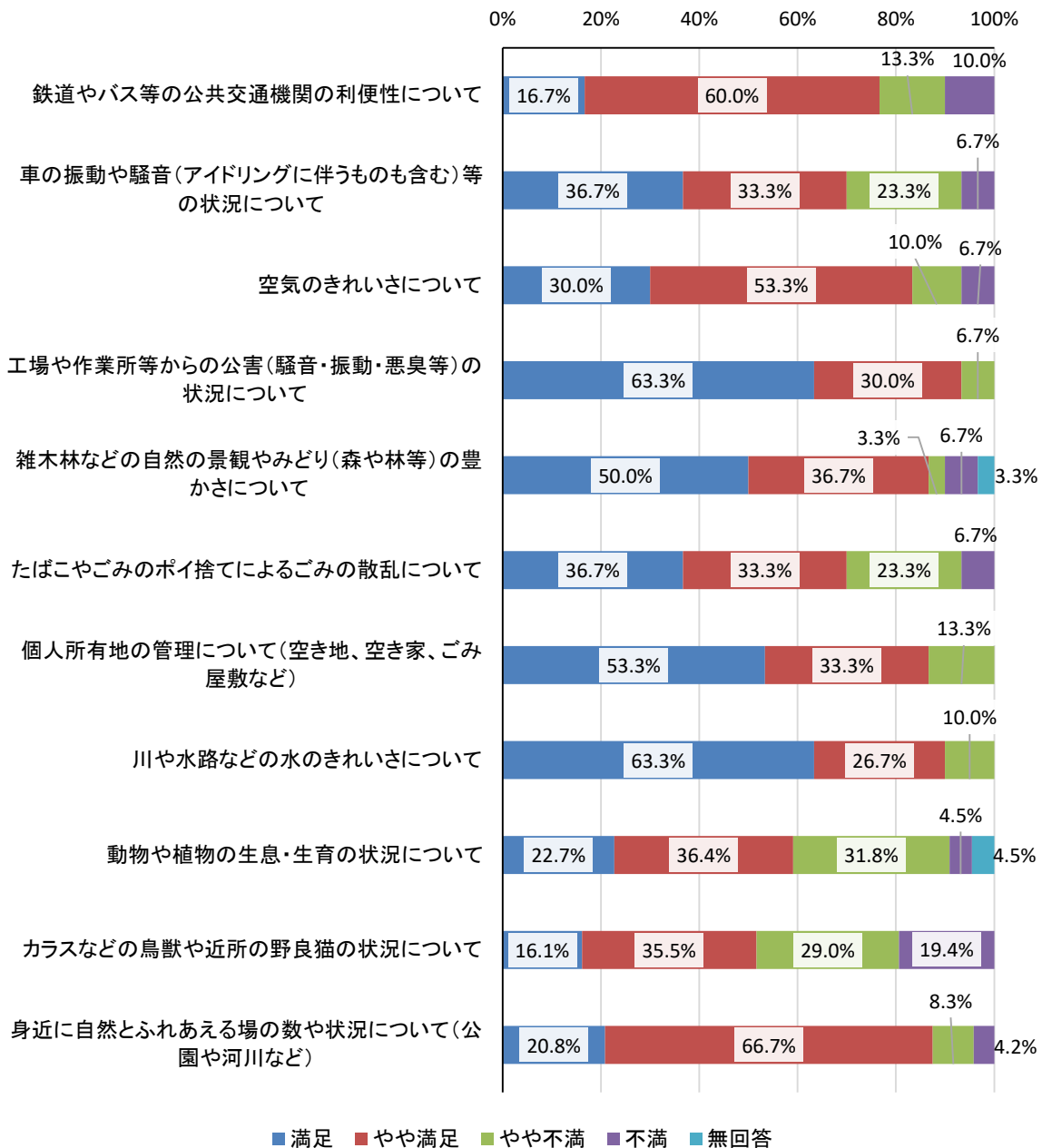


図 2-10 環境への満足度（東部地域）

東部地域においては、「空気のきれいさについて」、「工場や作業所等からの公害（騒音・振動・悪臭等）の状況について」、「雑木林などの自然の景観やみどり（森や林等）の豊かさについて」、「個人所有地の管理について（空き地、空き家、ごみ屋敷など）」、「川や水路などの水のきれいさについて」、「身近に自然とふれあえる場の数や状況について」における満足およびやや満足の合計が 80% を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「カラスなどの鳥獣や近所の野良猫の状況について」ではやや不満、不満の合計が 40% 以上と高くなっています。自由記述においては、交通の不便さや大型車両による振動、ごみの散乱などが挙げられており、これらへの対策が望まれます。

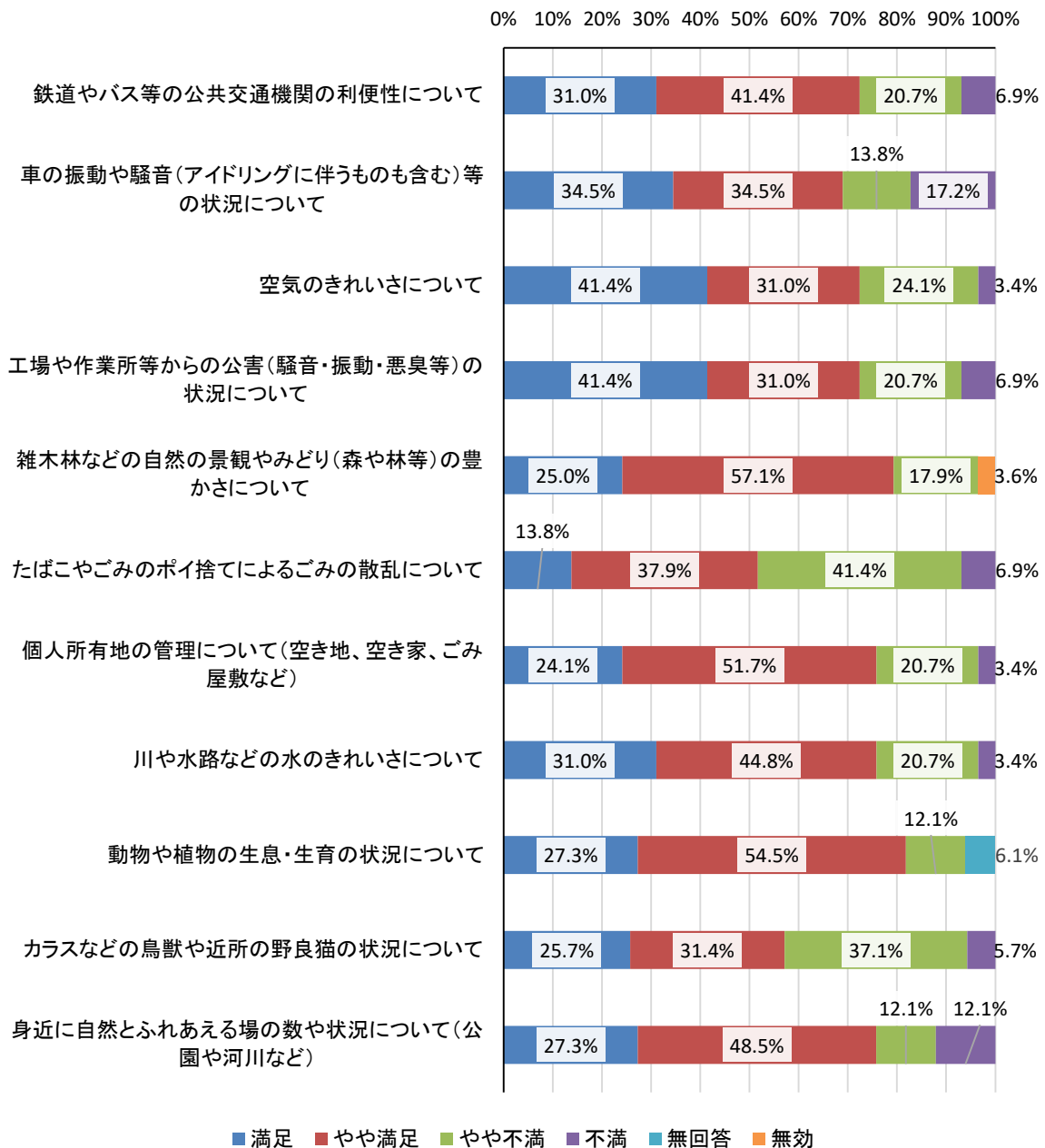


図 2-11 環境への満足度（中央地域）

東部地域においては、「動物や植物の生息・生育の状況について」における満足およびやや満足の合計が80%を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「たばこやごみのポイ捨てによるごみの散乱について」、「カラスなどの鳥獣や近所の野良猫の状況について」ではやや不満、不満の合計が40%以上と高くなっています。自由記述においては、道路における振動や公園の少なさなどが挙げられており、これらへの対策が望まれます。

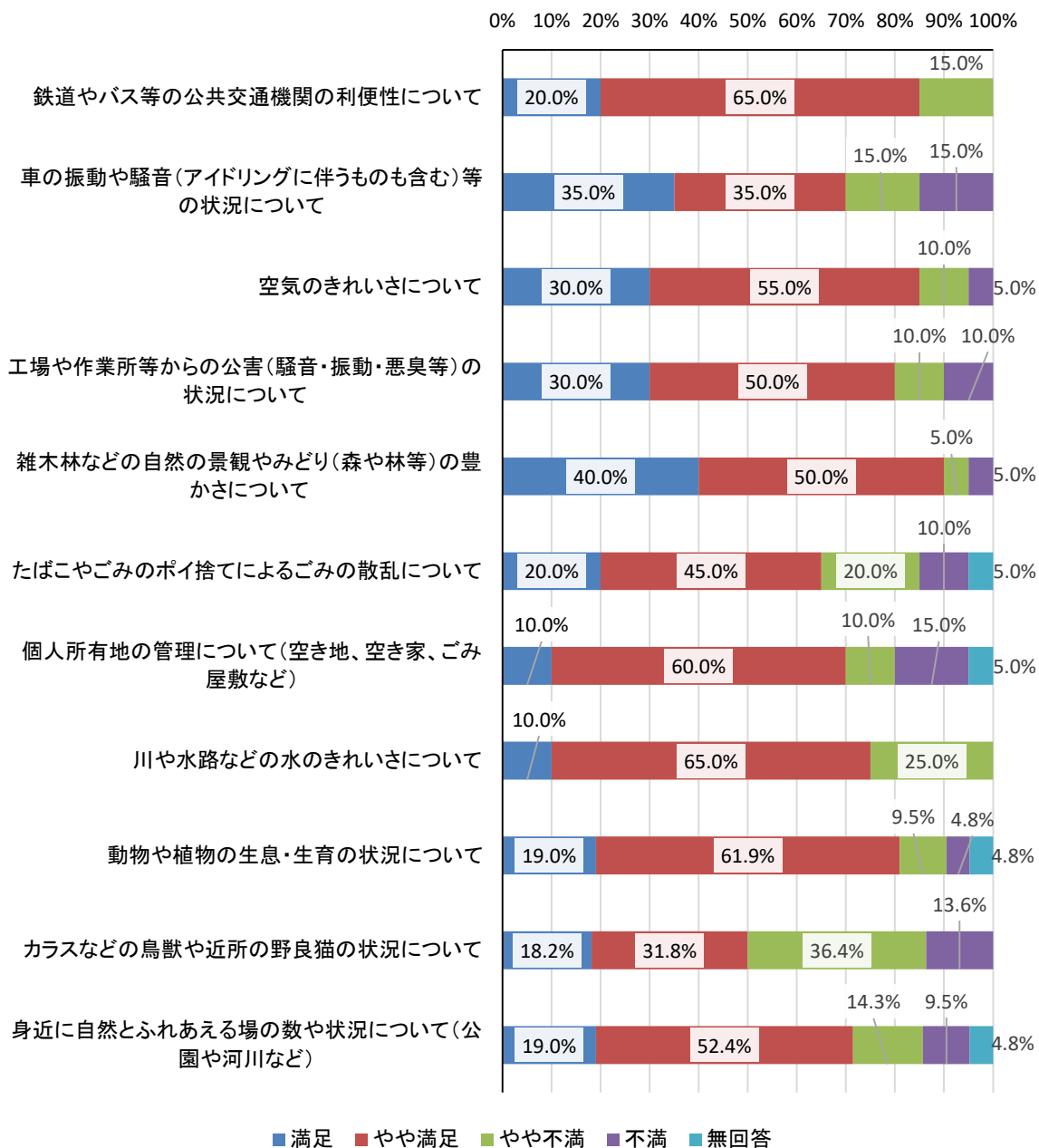


図 2-12 環境への満足度（西部地域）

西部地域においては、「鉄道やバス等の公共交通機関の利便性について」、「空気のきれいさについて」、「雑木林などの自然の景観やみどり（森や林等）の豊かさについて」、「動物や植物の生息・生育の状況について」における満足およびやや満足の合計が 80%を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「カラスなどの鳥獣や近所の野良猫の状況について」ではやや不満、不満の合計が 50%と高くなっています。自由記述においては、畑の砂に関する事柄や道路における振動などが挙げられており、これらへの対策が望まれます。

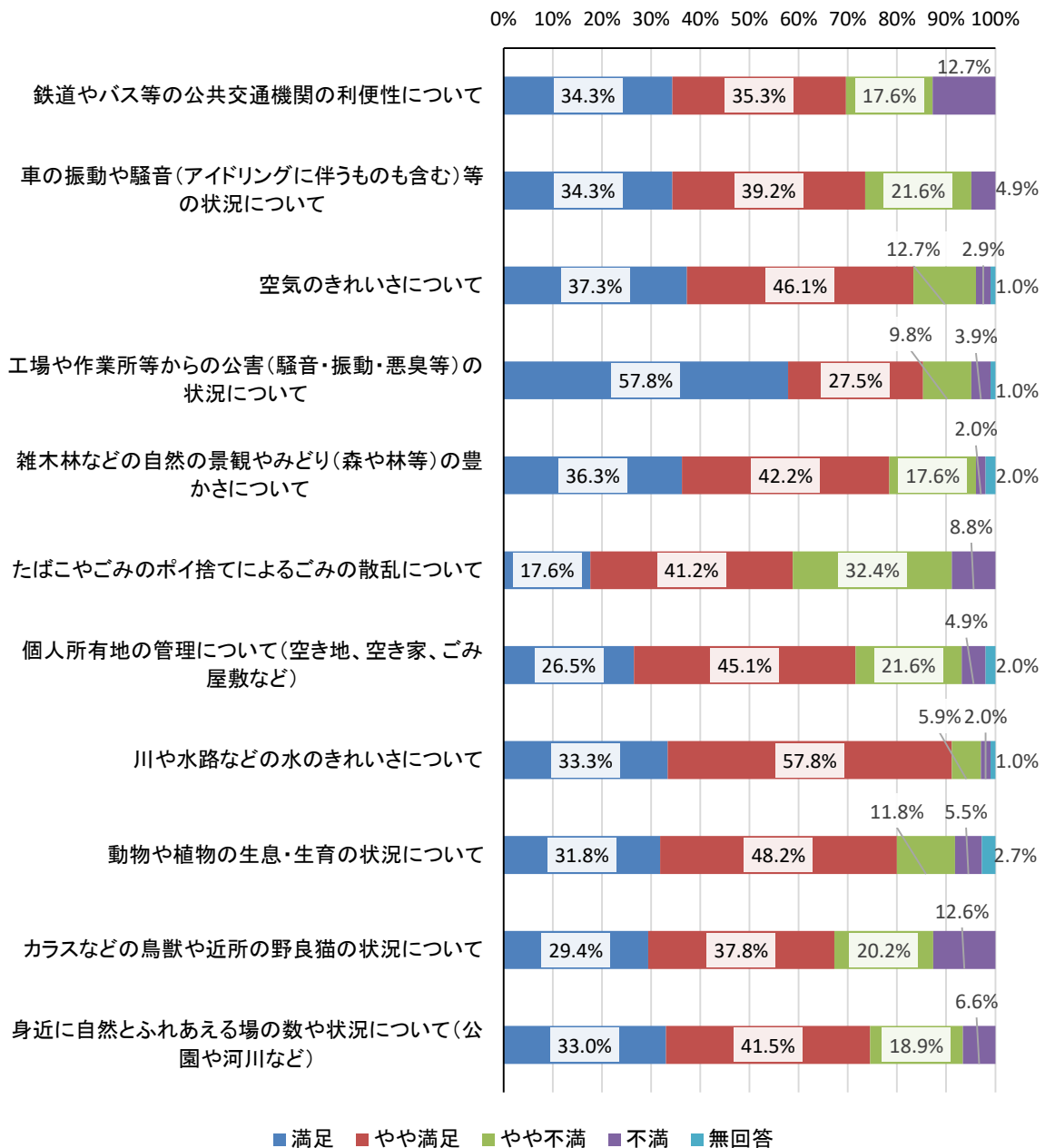


図 2-13 環境への満足度（南部地域）

南部地域においては、「空気のきれいさについて」、「工場や作業所等からの公害（騒音・振動・悪臭等）の状況について」、「川や水路などの水のきれいさについて」における満足およびやや満足の合計が80%を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「たばこやごみのポイ捨てによるごみの散乱について」ではやや不満、不満の合計が40%以上と高くなっています。自由記述においては、交通の不便さや動物関連の問題、公園の整備、野焼きの問題などが挙げられており、これらへの対策が望まれます。

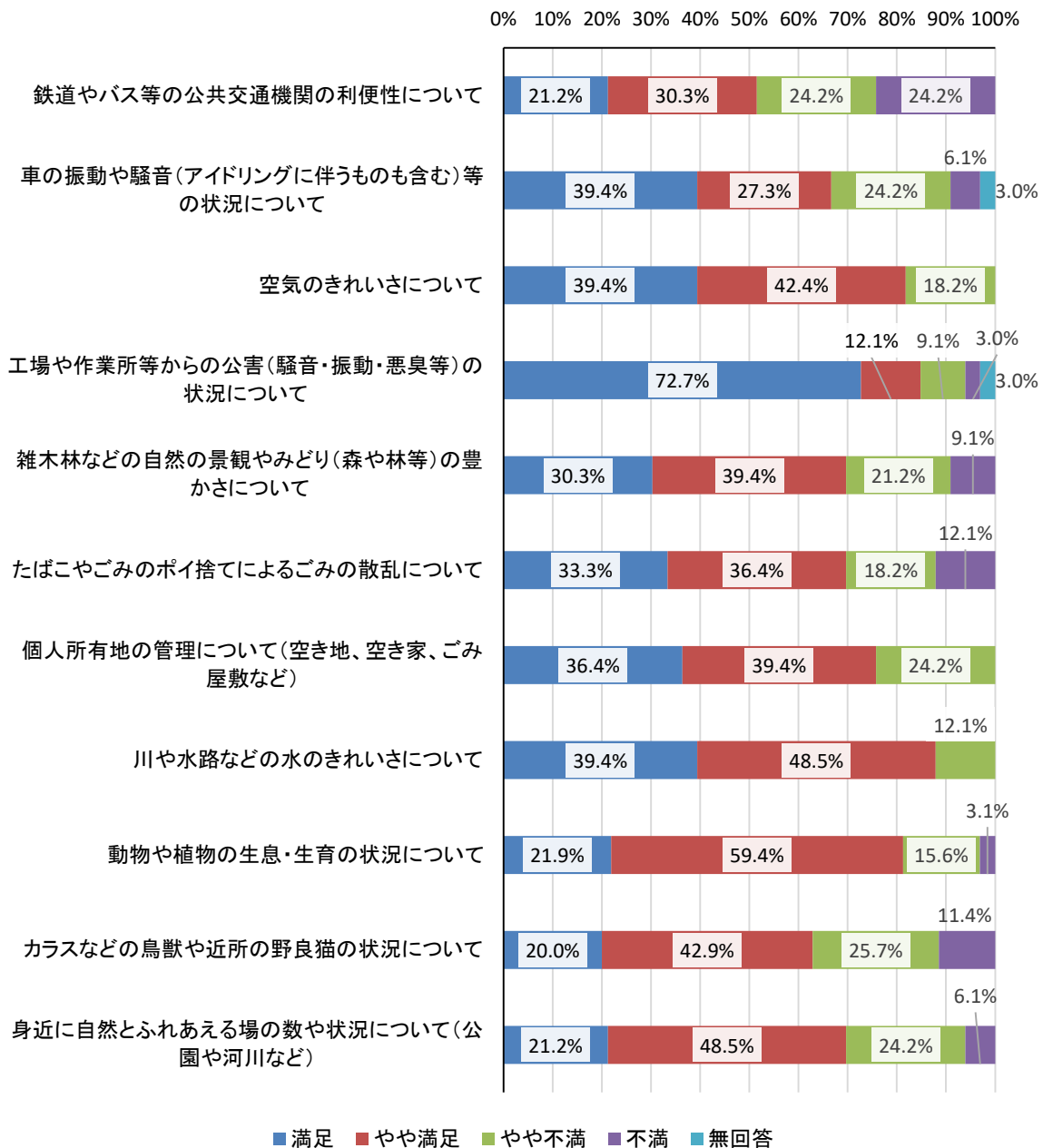


図 2-14 環境への満足度（南西地域）

南西地域においては、「空気のきれいさについて」、「工場や作業所等からの公害（騒音・振動・悪臭等）の状況について」、「川や水路などの水のきれいさについて」、「動物や植物の生息・生育の状況について」における満足およびやや満足の合計が 80%を超えており、満足度が高いといえます。

一方で、「鉄道やバス等の公共交通機関の利便性について」ではやや不満、不満の合計が 40%以上と高くなっています。自由記述においては、交通の不便さやごみの散乱などが挙げられており、これらへの対策が望まれます。

問4 あなたの住んでいる地域環境において、最も緊急性がある問題や課題はなんであるとお考えですか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

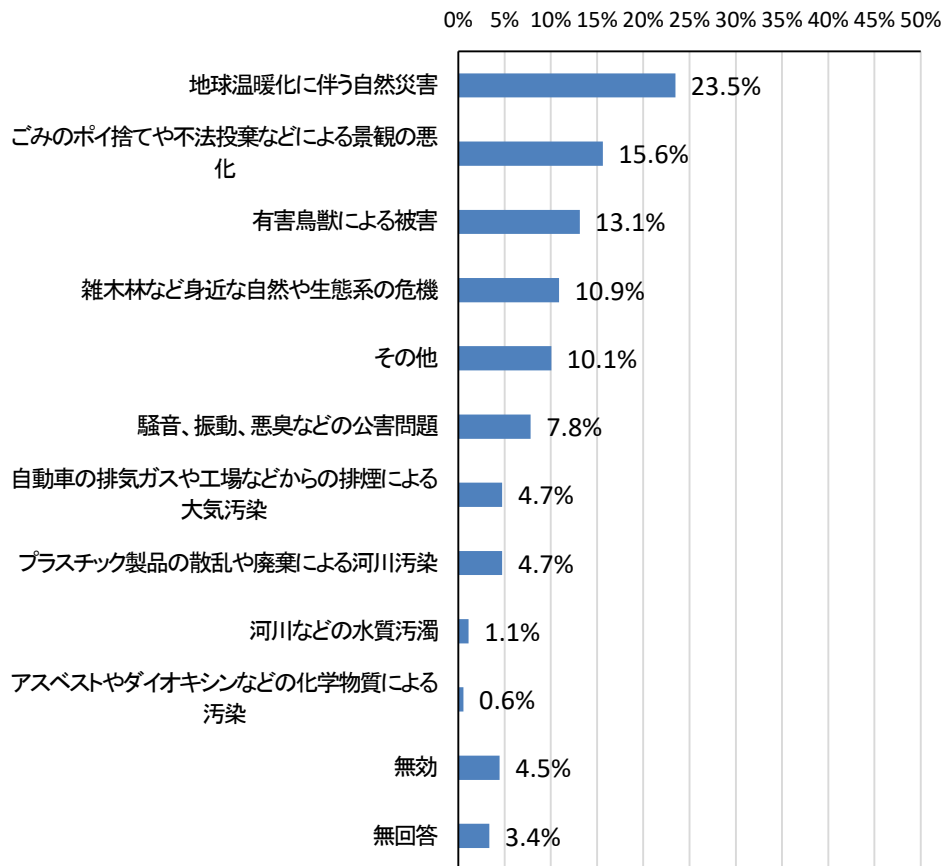


図 2-15 地域で緊急性がある問題や課題（市域全体）

市域全体においては、「地球温暖化に伴う自然災害」が最も緊急性があると捉えられており、次いで「ごみのポイ捨てや不法投棄などによる景観の悪化」、「有害鳥獣による被害」となっています。

一方、「河川などの水質汚濁」および「アスベストやダイオキシンなどの化学物質による汚染」の緊急性は低いと考えられています。

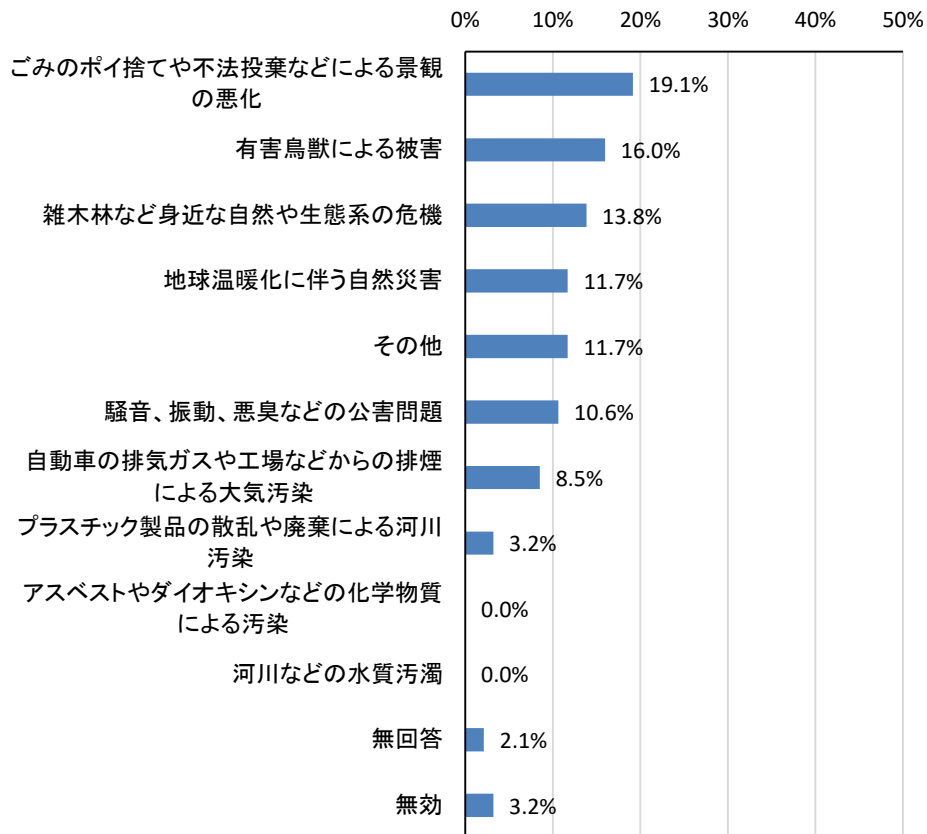


図 2-16 地域で緊急性がある問題や課題（北東地域）

北東地域においては、「ごみのポイ捨てや不法投棄などによる景観の悪化」が最も緊急性があると捉えられており、次いで「有害鳥獣による被害」、「雑木林など身近な自然や生態系の危機」となっています。

一方、「アスベストやダイオキシンなどの化学物質による汚染」および「河川などの水質汚濁」の緊急性は低いと考えられています。

「その他」回答内容（北東地域）

回答内容
歩行者部分の道路の不備
歩道の整備
近所の飼い猫問題
マンション、建売住宅、老人ホームが多すぎて景観が悪くなった
歩道の整備、東西をつなぐ道路整備
住宅街の狭い道路での違法駐車や公道での洗車などの行為
家の増加に対する道路整備の遅れ

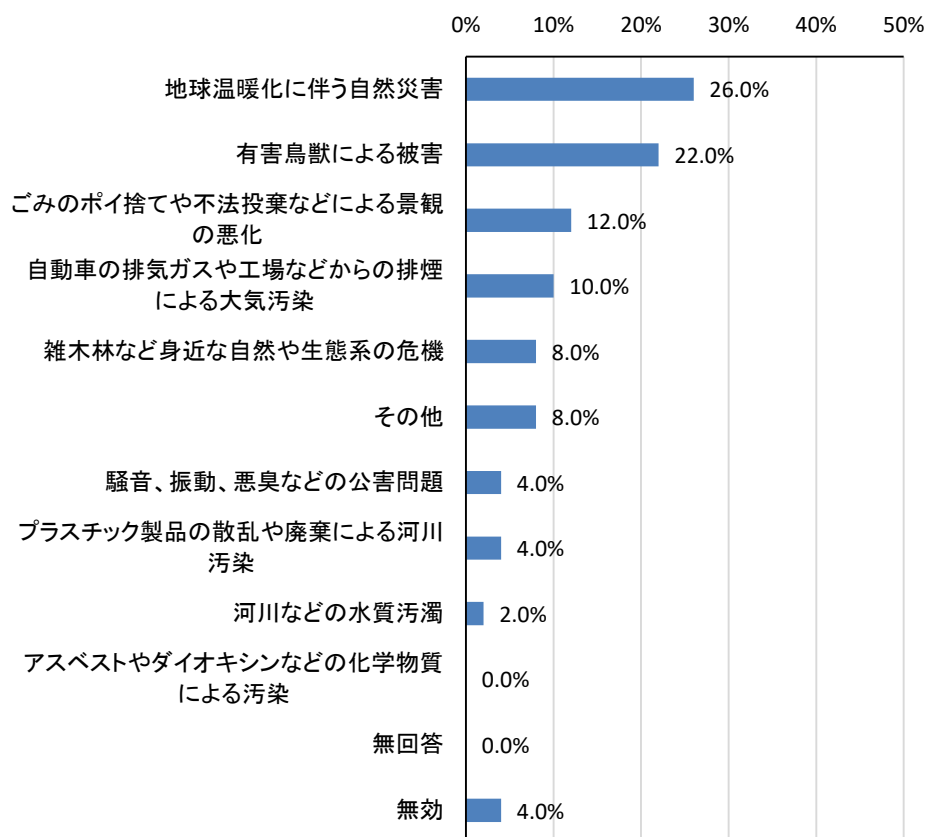


図 2-17 地域で緊急性がある問題や課題（北西地域）

北西地域においては、「地球温暖化に伴う自然災害」が最も緊急性があると捉えられており、次いで「有害鳥獣による被害」、「ごみのポイ捨てや不法投棄などによる景観の悪化」となっています。

一方、「河川などの水質汚濁」および「アスベストやダイオキシンなどの化学物質による汚染」などの緊急性は低いと考えられています。

「その他」回答内容（北西地域）

回答内容
タバコのポイ捨てで火災又は放火がこわい。治安に不安がある
地震による 坂の途中などの壁面の崩落
道路の渋滞
地球温暖化に伴う気候変動

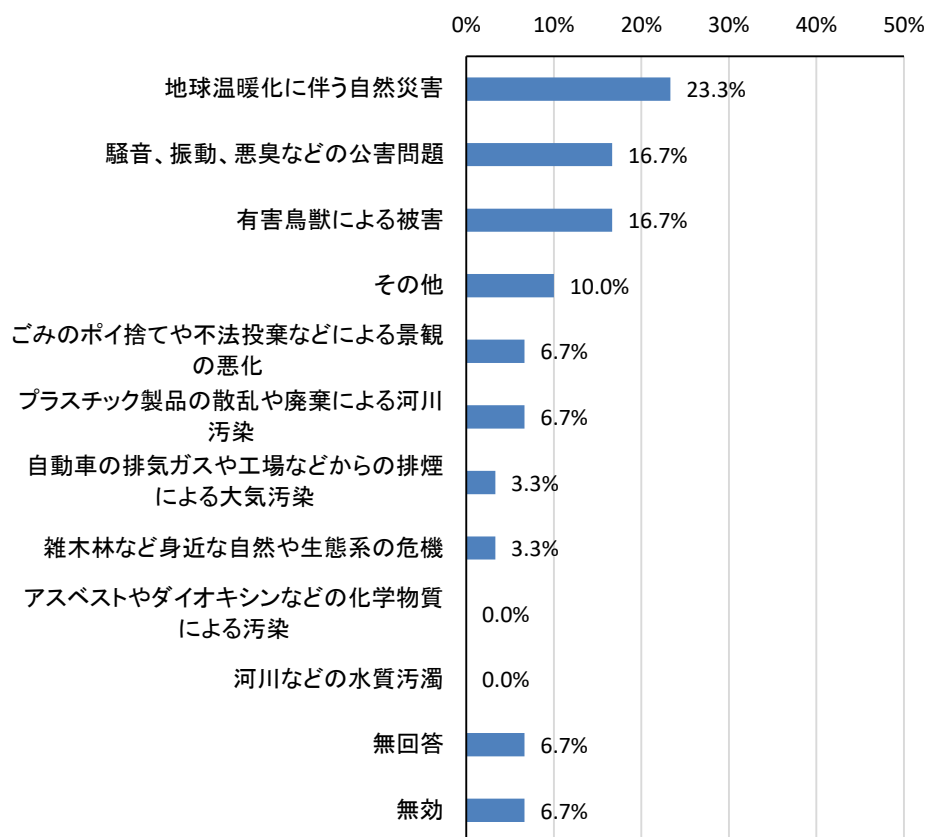


図 2-18 地域で緊急性がある問題や課題（東部地域）

東部地域においては、「地球温暖化に伴う自然災害」が最も緊急性があると捉えられており、次いで「騒音、振動、悪臭などの公害問題」および「有害鳥獣による被害」となっています。

一方、「アスベストやダイオキシンなどの化学物質による汚染」および「河川などの水質汚濁」などの緊急性は低いと考えられています。

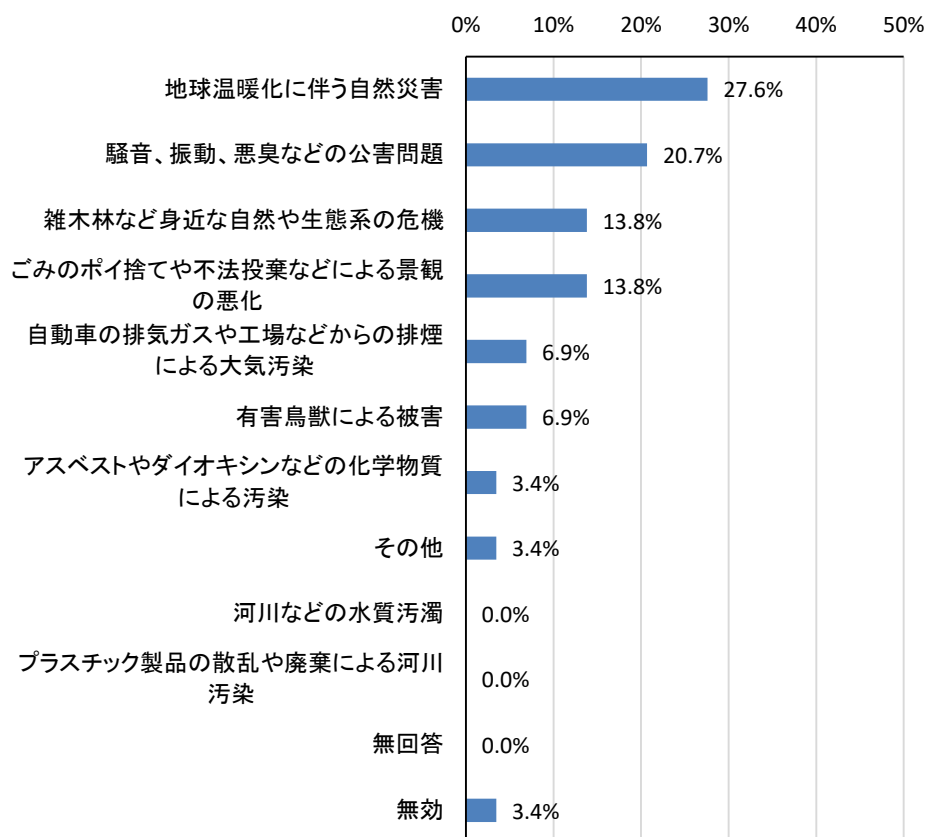


図 2-19 地域で緊急性がある問題や課題（中央地域）

中央地域においては、「地球温暖化に伴う自然災害」が最も緊急性があると捉えられており、次いで「騒音、振動、悪臭などの公害問題」、「雑木林など身近な自然や生態系の危機」および「ごみのポイ捨てや不法投棄などによる景観の悪化」となっています。

一方、「河川などの水質汚濁」および「プラスチック製品の散乱や廃棄による河川汚染」などの緊急性は低いと考えられています。

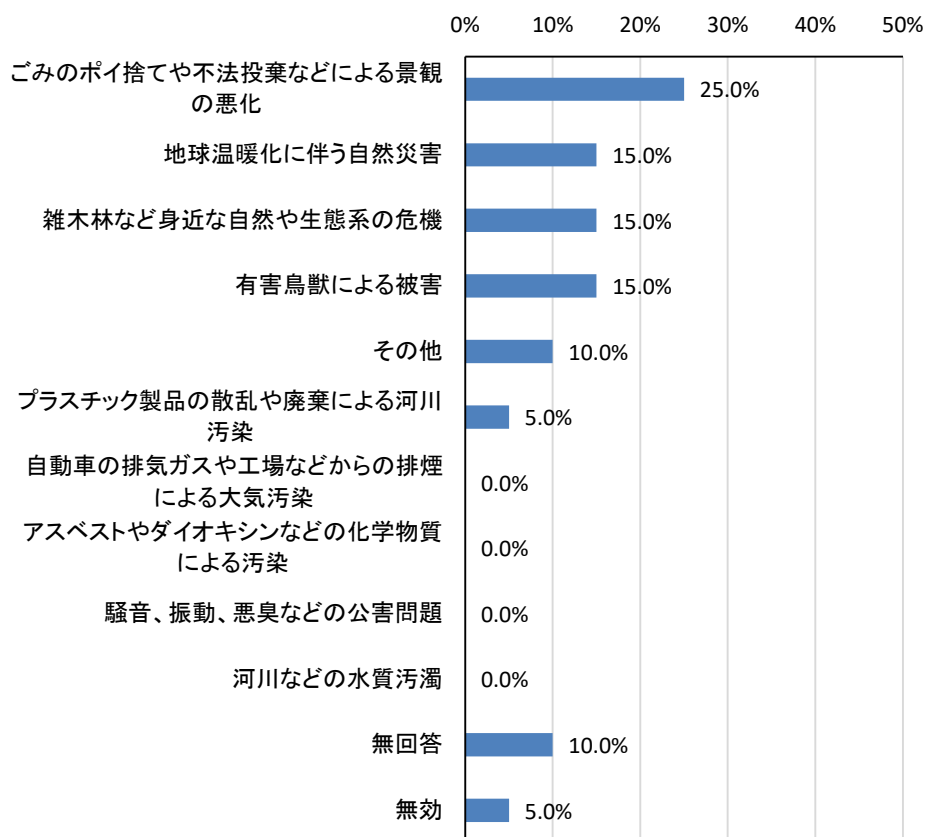


図 2-20 地域で緊急性がある問題や課題（西部地域）

西部地域においては、「ごみのポイ捨てや不法投棄などによる景観の悪化」が最も緊急性があると捉えられており、次いで「地球温暖化に伴う自然災害」、「雑木林など身近な自然や生態系の危機」および「有害鳥獣による被害」となっています。

一方、「自動車の排気ガスや工場などからの排煙による大気汚染」、「アスベストやダイオキシンなどの化学物質による汚染」、「騒音、振動、悪臭などの公害問題」および「河川などの水質汚濁」などの緊急性は低いと考えられています。

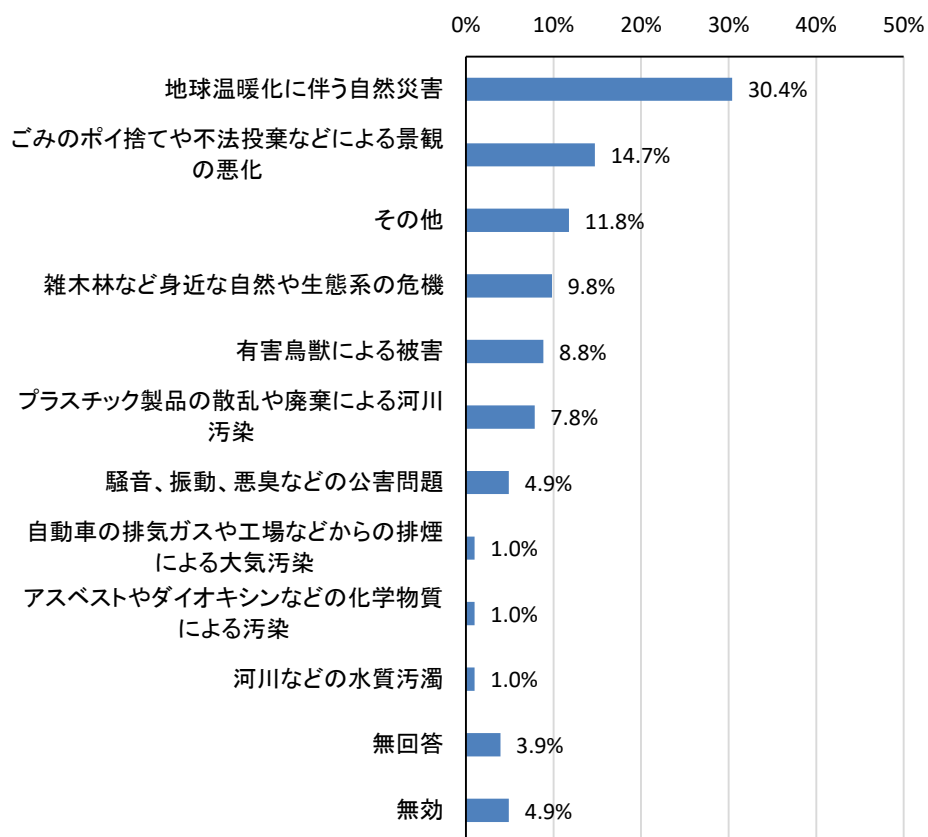


図 2-21 地域で緊急性がある問題や課題（南部地域）

南部地域においては、「地球温暖化に伴う自然災害」が最も緊急性があると捉えられており、次いで、「ごみのポイ捨てや不法投棄などによる景観の悪化」、「その他」となっています。

一方、「自動車の排気ガスや工場などからの排煙による大気汚染」、「アスベストやダイオキシンなどの化学物質による汚染」および「河川などの水質汚濁」などの緊急性は低いと考えられています。

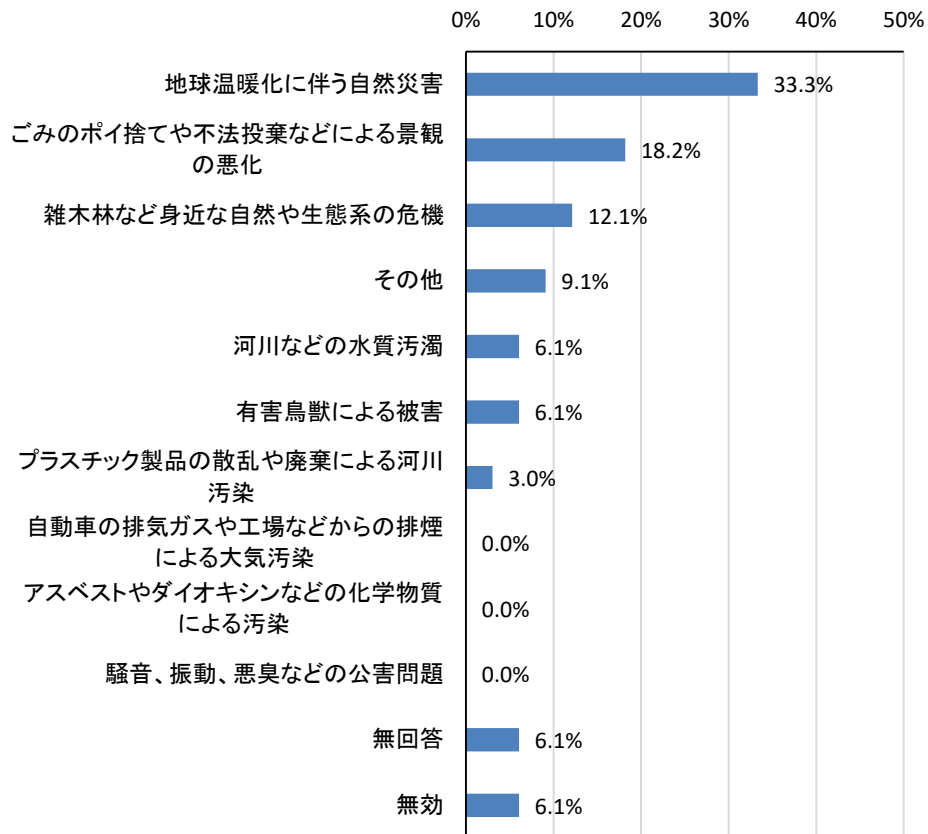


図 2-22 地域で緊急性がある問題や課題（南西地域）

南西地域においては、「地球温暖化に伴う自然災害」が最も緊急性があると捉えられており、次いで「ごみのポイ捨てや不法投棄などによる景観の悪化」、「雑木林など身近な自然や生態系の危機」となっています。

一方、「自動車の排気ガスや工場などからの排煙による大気汚染」、「アスベストやダイオキシンなどの化学物質による汚染」および「騒音、振動、悪臭などの公害問題」などの緊急性は低いと考えられています。

問5 日常生活での環境への配慮についておたずねします。あなたは日常生活においてどのような取り組みを行っていますか。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

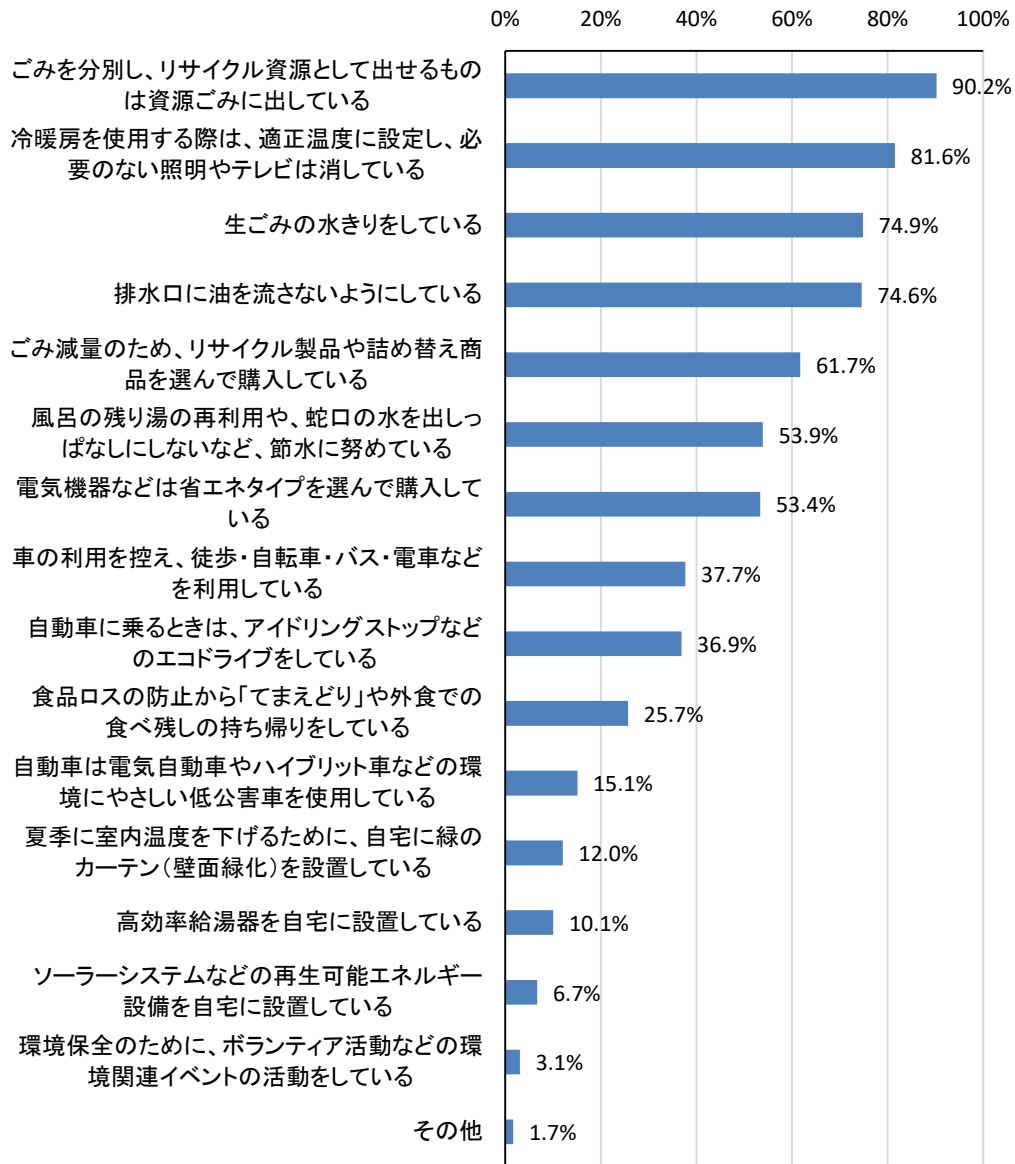


図 2-23 環境配慮行動の実践

資源ごみの分別は 90%以上と最も進んでおり、その他では冷暖房の適正利用や生ごみの水きり、油の処理、詰め替え商品の購入、節水、省エネ家電の購入を半数以上の人が行っており、行動として定着していると考えられます。

全体的に再生可能エネルギー設備、高効率給湯器、緑のカーテン、低公害車の導入が進んでいないため、今後の取組の余地があります。

問6 日常生活の中で環境への配慮を行うにあたって支障となることはありますか。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

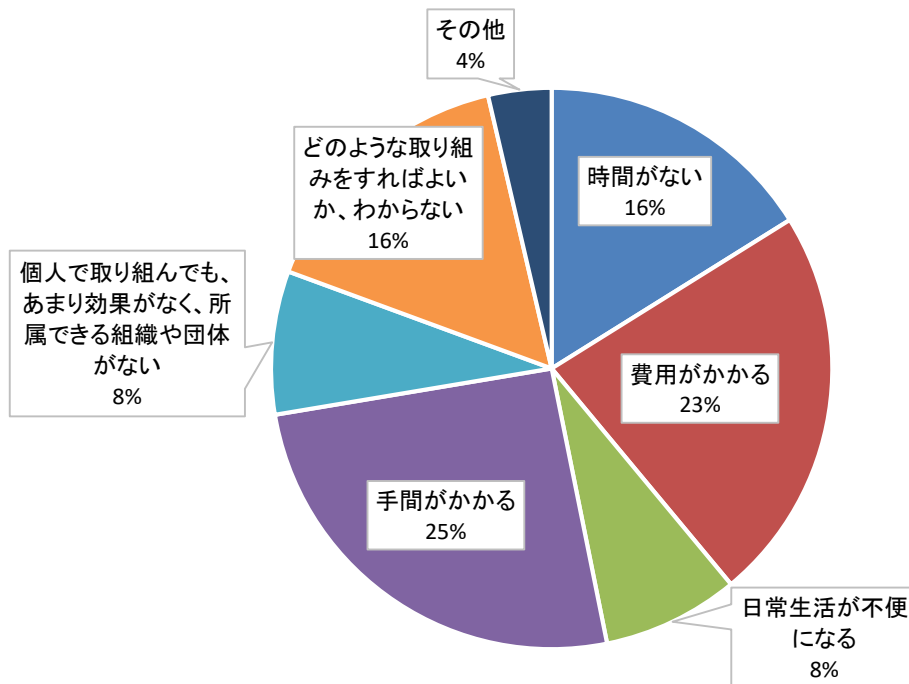


図 2-24 環境配慮行動にあたっての支障

環境への配慮を行うにあたって支障になることとして、手間がかかるが最も多く 25% でした。次いで費用がかかるは 23%、時間がないおよびどのような取り組みをすればよいかわからないがともに 16% でした。

問7 新座市が行っている環境に関連する事業についてお伺いします。あなたがこの中で知っている事業はありますか。各事業にあてはまるものを一つ選んで○で囲んでください。

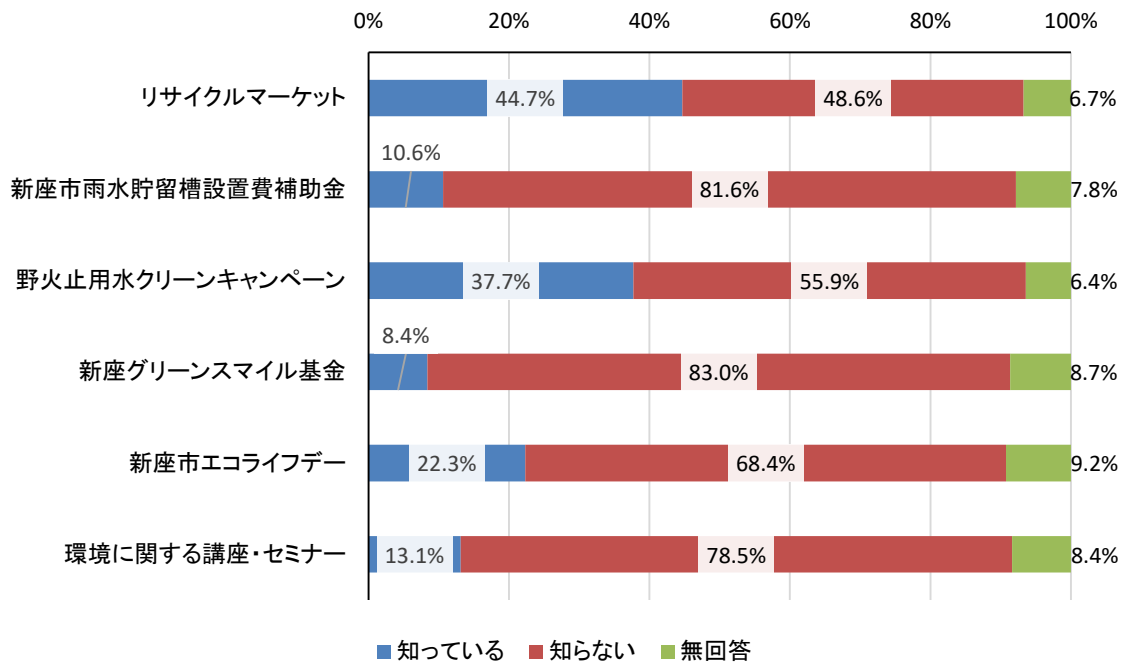


図 2-25 新座市の環境関連事業

新座市で最も知られている環境に関連する事業はリサイクルマーケットであり、45%と半数近くでした。次いで、野火止用水クリーンキャンペーンの認知度は38%でしたが、新座市エコライフデーや環境に関する講座・セミナー、新座市雨水貯留槽設置費補助金、新座グリーンスマイル基金は認知度が30%未満に留まります。

問8 問7で一つでも「知っている」と回答された方に伺います。新座市が行っている環境に関連する事業のうち、あなたがこの中で参加（参加や活用等）した事業はありますか。各事業にあてはまるものを一つ選んで○で囲んでください。

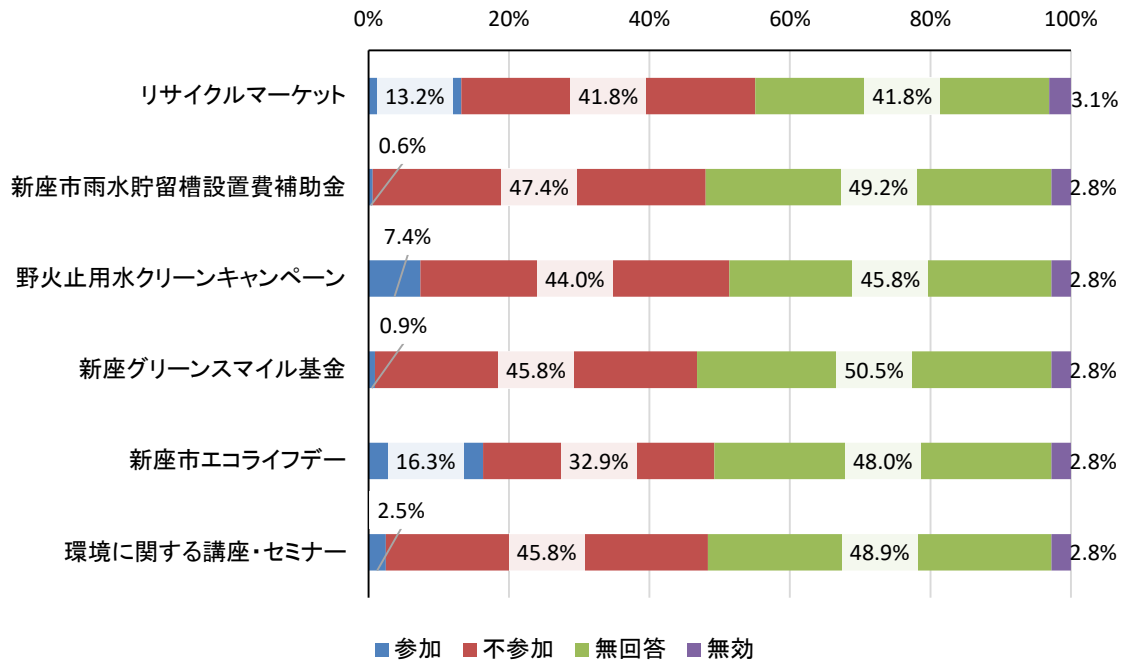


図 2-26 環境に関する事業の参加状況

参加したことがある事業は新座市エコライフデーが 16%と最も多く、次いでリサイクルマーケットが 13%、野火止用水クリーンキャンペーンが 7%となっており、実際に参加に至る割合は低い状況にあります。

問9 問8で参加した理由や参加しなかった理由をお伺いします。各事業にあてはまるものをいくつでも選んで○で囲んでください。

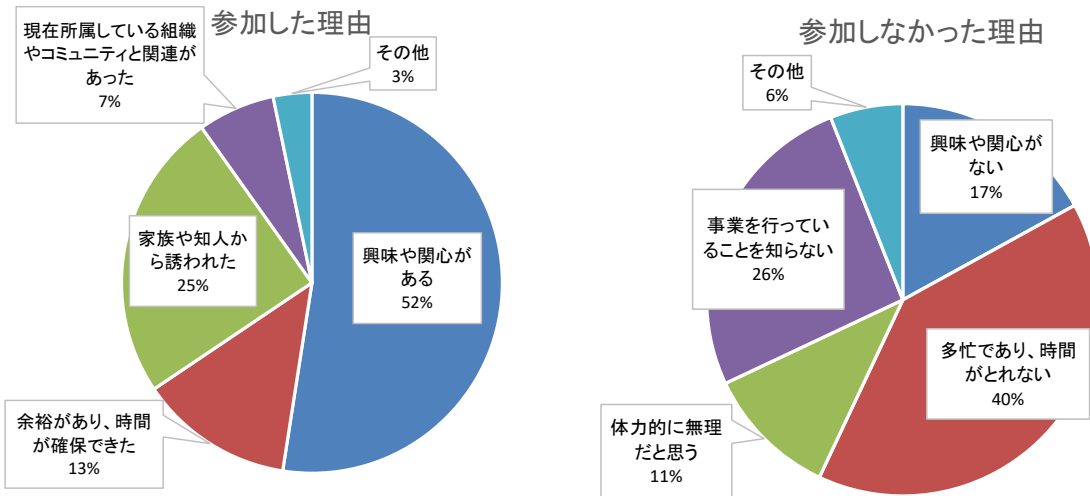


図 2-27 環境事業への参加・不参加の理由（リサイクルマーケット）

リサイクルマーケットについて、参加した理由は興味や関心があるが最も多く 52%、次いで家族や知人に誘われたが 25%でした。

また、参加しなかった理由については、多忙であり時間がとれないが最も多く 40%、次いで事業を行っていることを知らないが 26%でした。

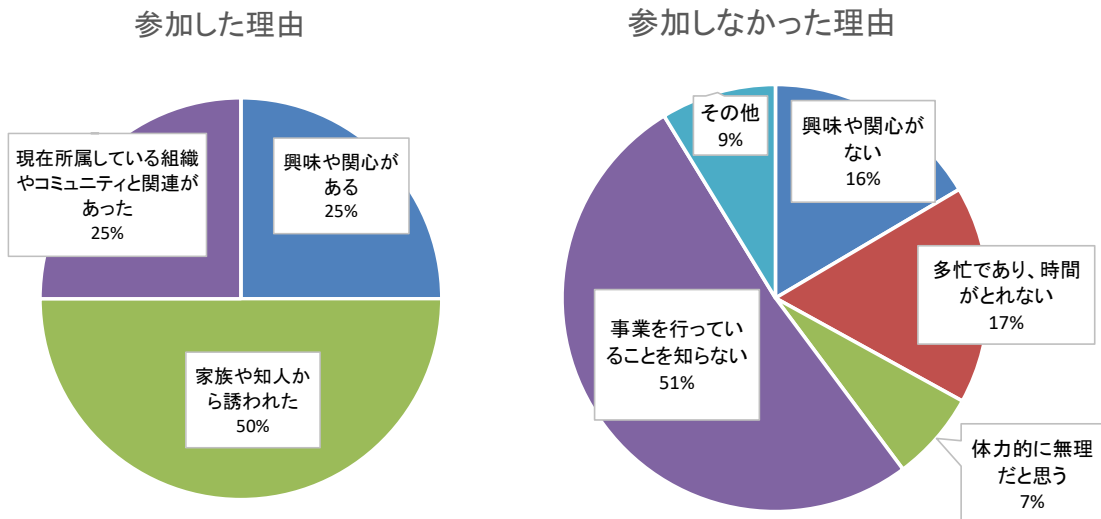


図 2-28 環境事業への参加・不参加の理由（新座市雨水貯留槽設置補助金）

新座市雨水貯留槽設置補助金について、参加した理由は家族や知人に誘われたが最も多く 50%、次いで興味や関心があるおよび現在所属している組織やコミュニティと関連があったがともに 25%でした。

また、参加しなかった理由については、事業を行っていることを知らないが最も多く 51%、次いで多忙であり時間がとれないが 17%でした。

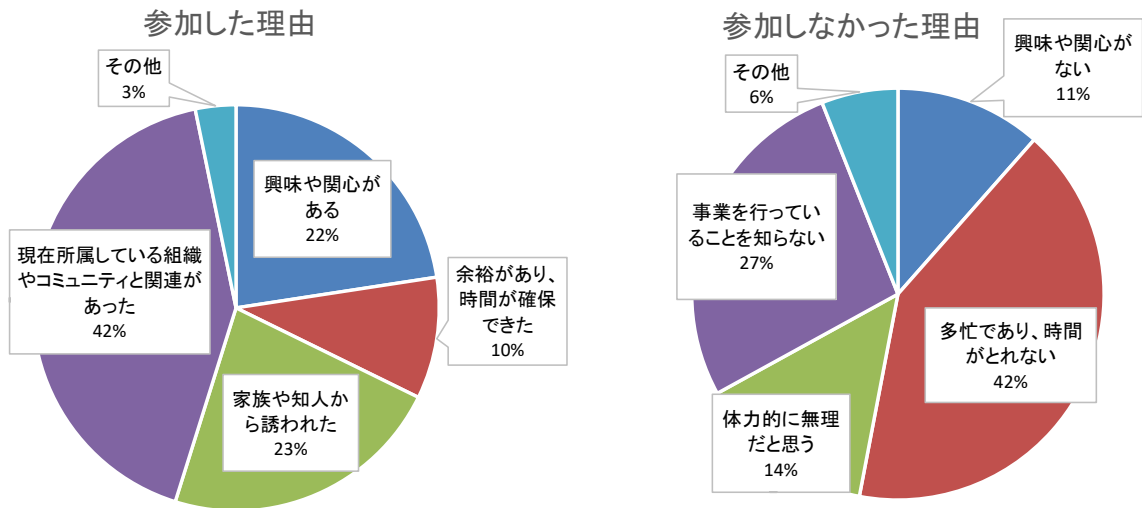


図 2-29 環境事業への参加・不参加の理由（野火止用水クリーンキャンペーン）

野火止用水クリーンキャンペーンについて、参加した理由は現在所属している組織やコミュニティ家族や知人に誘われたが最も多く、42%、次いで家族や知人から誘われた、興味や関心があるがともに20%以上でした。

また、参加しなかった理由については、多忙であり時間がとれないが最も多く、42%、次いで事業を行っていることを知らないが27%でした。

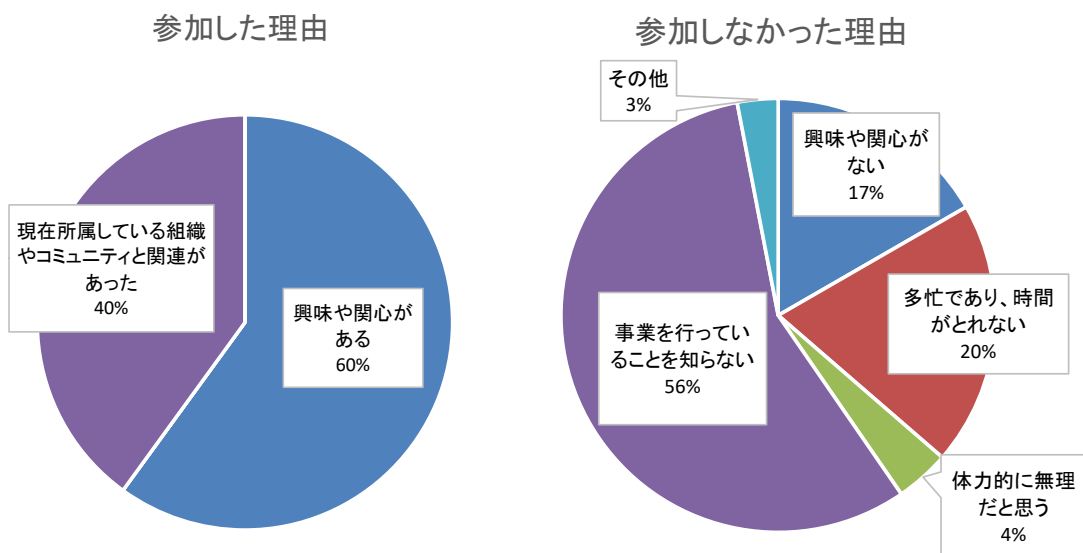


図 2-30 環境事業への参加・不参加の理由（新座グリーンスマイル基金）

新座グリーンスマイル基金について、参加した理由は興味や関心があるが最も多く60%、次いで現在所属している組織やコミュニティと関連があったが40%でした。

また、参加しなかった理由については、事業を行っていることを知らないが最も多く56%、次いで多忙であり時間がとれないが20%でした。

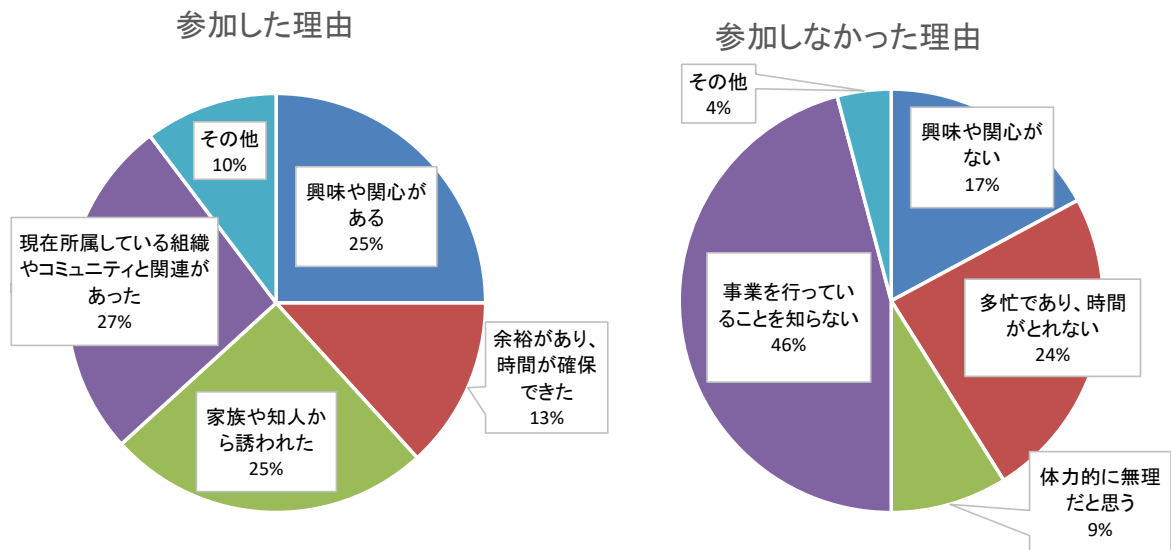


図 2-31 環境事業への参加・不参加の理由（新座市エコフライデー）

新座市エコフライデーについて、参加した理由は現在所属している組織やコミュニティと関連があったが最も多く 27%、次いで興味や関心があるおよび家族や知人に誘われたがともに 25%でした。

また、参加しなかった理由については、事業を行っていることを知らないが最も多く 46%、次いで多忙であり時間がとれないが 24%でした。

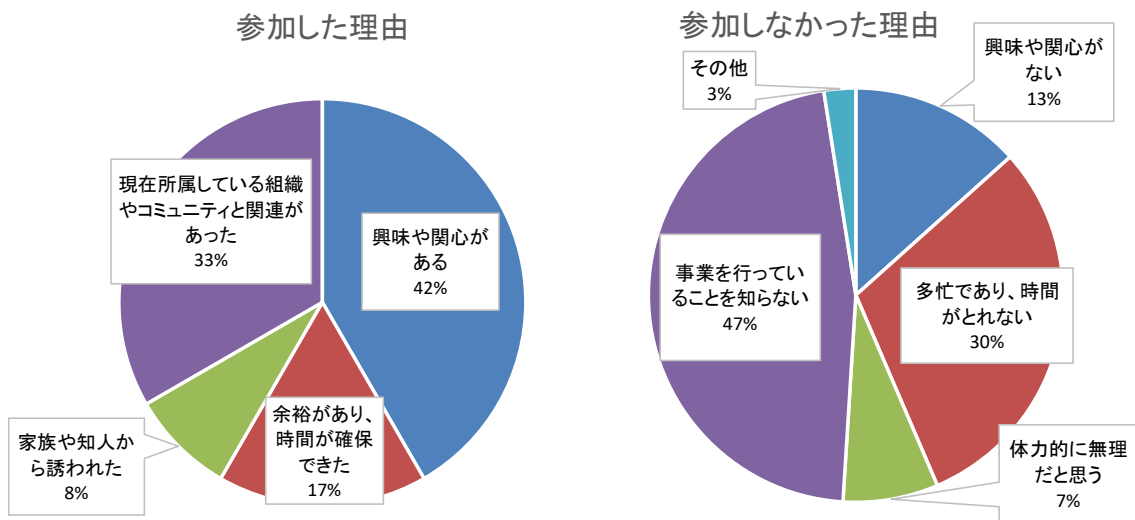


図 2-32 環境事業への参加・不参加の理由（環境に関する講座・セミナー）

環境に関する講座・セミナーについて、参加した理由は興味や関心があるが最も多く 42%、次いで現在所属している組織やコミュニティと関連があったが 33%でした。

また、参加しなかった理由については、事業を行っていることを知らないが最も多く 47%、次いで多忙であり時間がとれないが 30%でした。

問 10 新座市が行っている環境に関連する事業や環境に関する情報の提供はどの媒体で行うとわかりやすいですか。あてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

学校等の授業を通じて

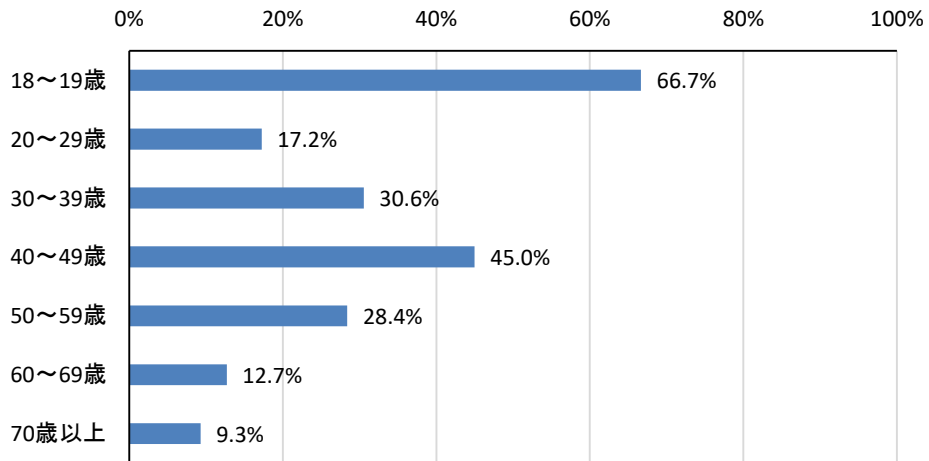


図 2-33 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供（学校等の授業を通じて）

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、学校等の授業を通じた情報提供は18～19歳が最も多く67%、次いで40～49歳が45%でした。

地域活動を通じて

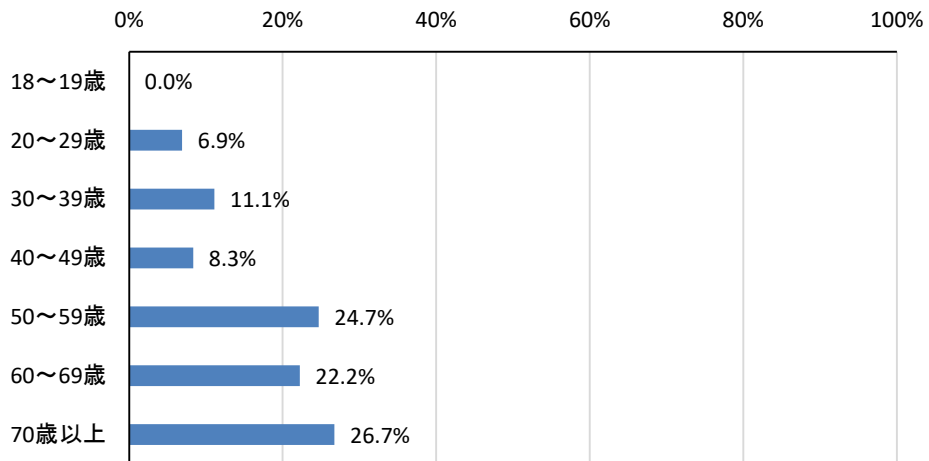


図 2-34 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供（地域活動を通じて）

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、地域活動を通じた情報提供は概ね年齢に応じて割合が増加する傾向が見られましたが、最も多い70歳以上でも27%に留まりました。

市の広報誌

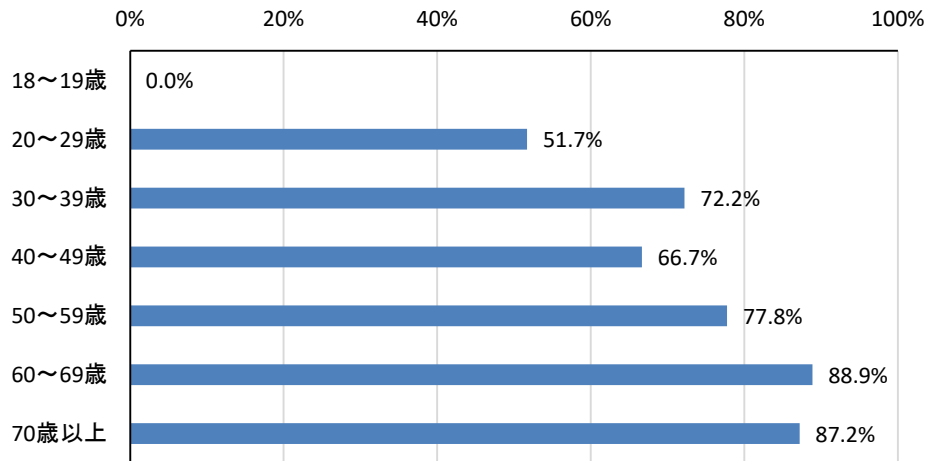


図 2-35 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供（市の広報誌）

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、市の広報誌は18～19歳を除くといずれの年齢層でも50%以上の割合でした。

新聞・雑誌・書籍

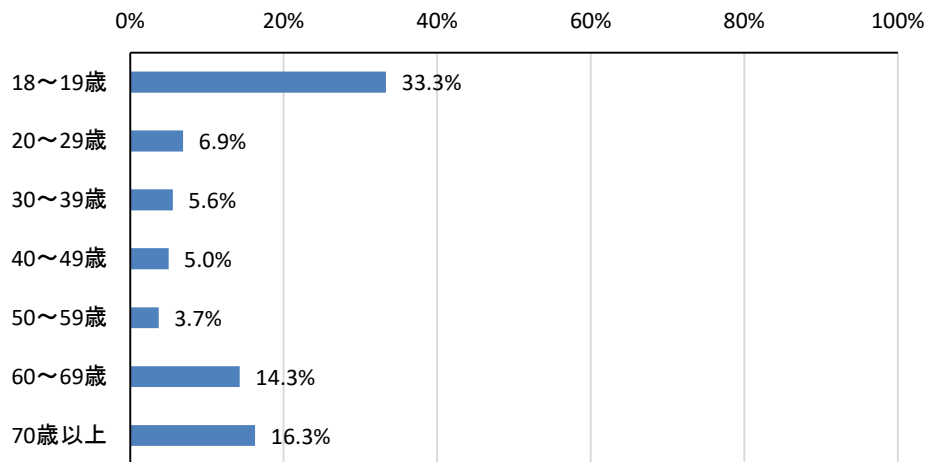


図 2-36 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供（新聞・雑誌・書籍）

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、新聞・雑誌・書籍は最も多い18～19歳で33%でしたが、その他の年齢層では20%未満に留まりました。

テレビ・ラジオ

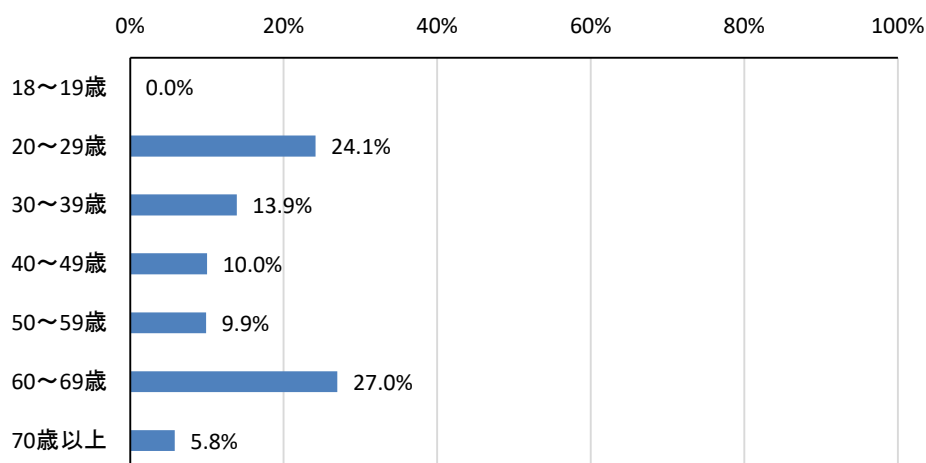


図 2-37 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供（テレビ・ラジオ）

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、テレビ・ラジオは 60～69 歳および 20～29 歳で 20%以上でしたが、その他の年齢層では 15%未満に留まりました。

インターネット・メール配信

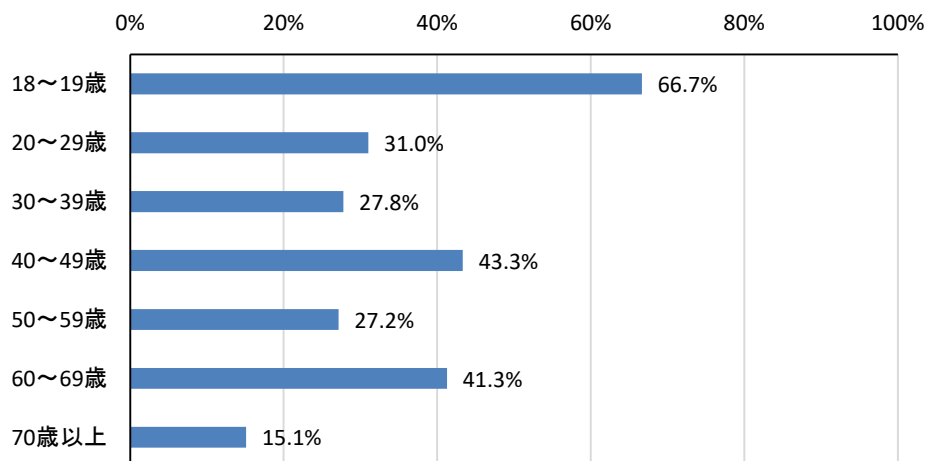


図 2-38 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供（インターネット・メール配信）

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、インターネット・メール配信は 18～19 歳で最も多く 67%でしたが、40～49 歳および 60～69 歳でも 40%以上と、その他の媒体と比較して全体的に高い結果が得られました。

SNS (Twitter等)

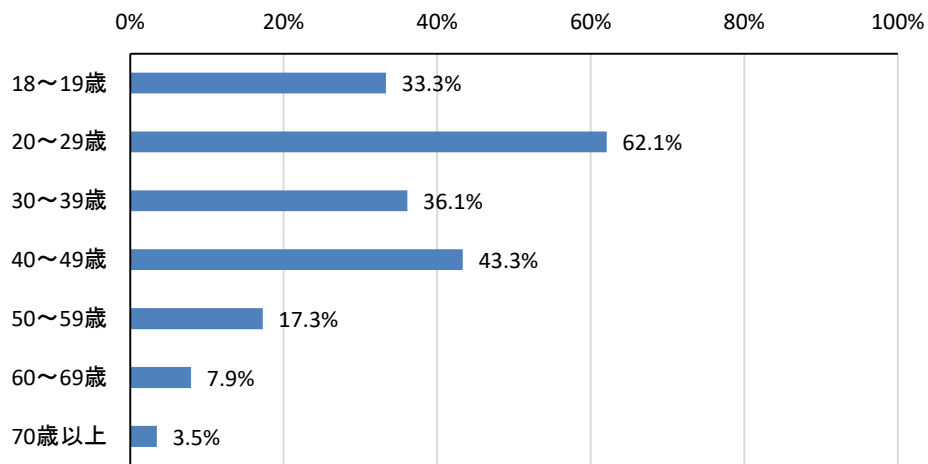


図 2-39 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供 (SNS (Twitter 等))

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、SNS (Twitter 等) は 20～29 歳で最も多く 62%であり、49 歳までの年齢層ではいずれも 30%以上でした。しかし、60 歳以上では 10%未満に留まっています。

その他

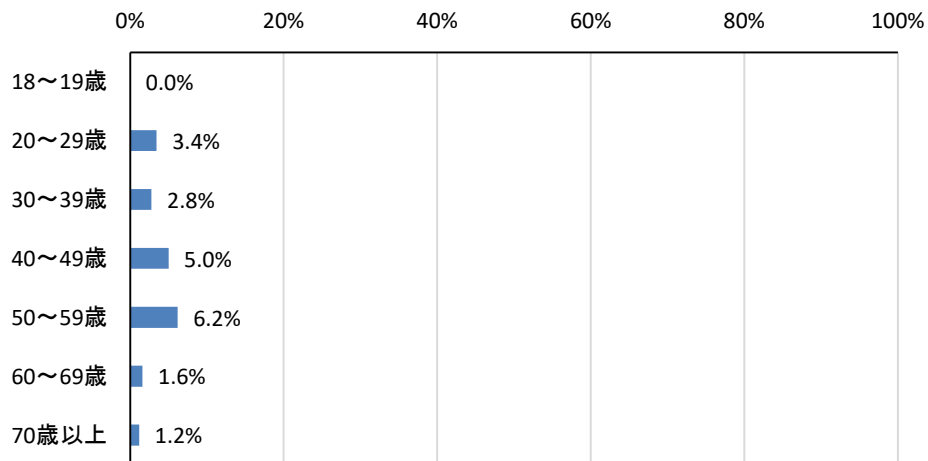


図 2-40 環境に関連する事業や環境に関する情報の提供 (その他)

環境に関連する事業や環境に関する情報の提供の媒体として、その他は回覧板や掲示板の活用、ポスターなどが挙げられています。

問 11 新座市が行う環境行政施策についてお伺いします。現在の家庭ごみ収集体制をどう感じていますか。あてはまるものを一つ選んで○で囲んでください。

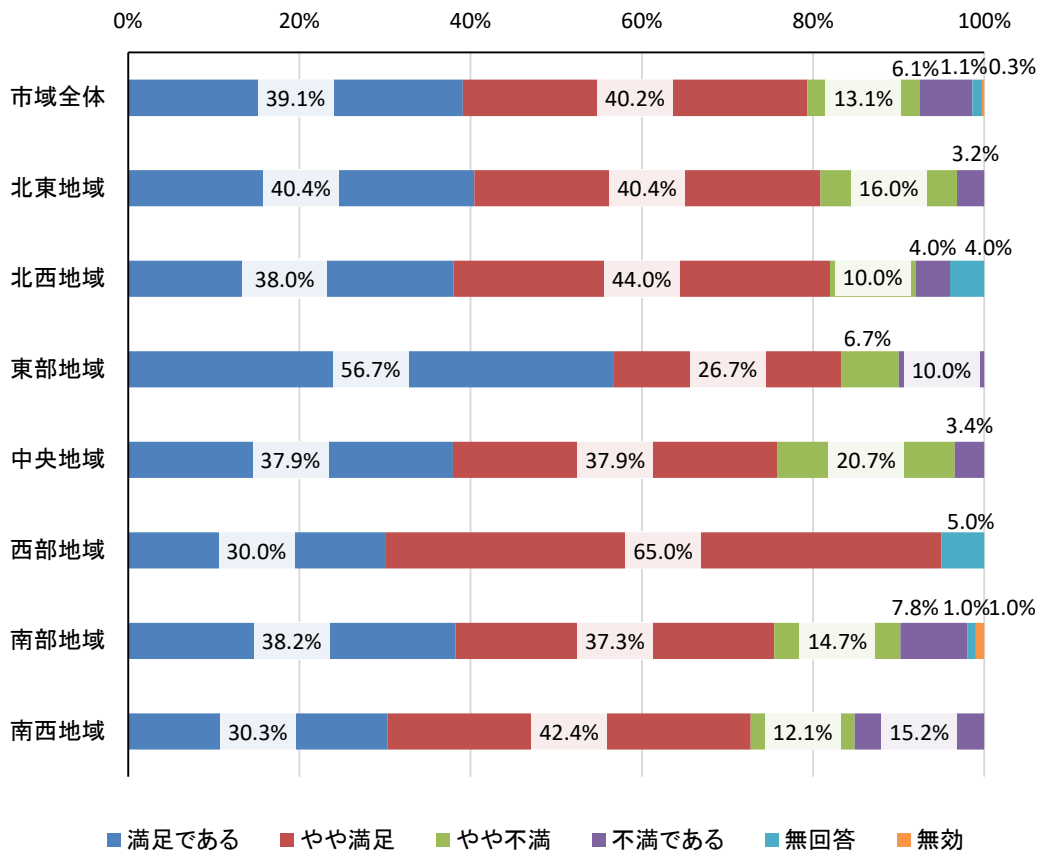


図 2-41 家庭ごみ収集体制の満足度

家庭ごみの収集体制の満足度は、「満足である」の割合が東部地域において 57% と最も高く、「やや満足」までを含めると西部地域が 95% でした。

一方で、「やや不満」および「不満」の合計は南西地域が最も高く 27%、次いで中央地域、南部地域でした。

問 12 新座市が行う環境行政施策についてお伺いします。家庭ごみの「戸別収集」についてどのようにお考えですか。あてはまるものを一つ選んで○で囲んでください。

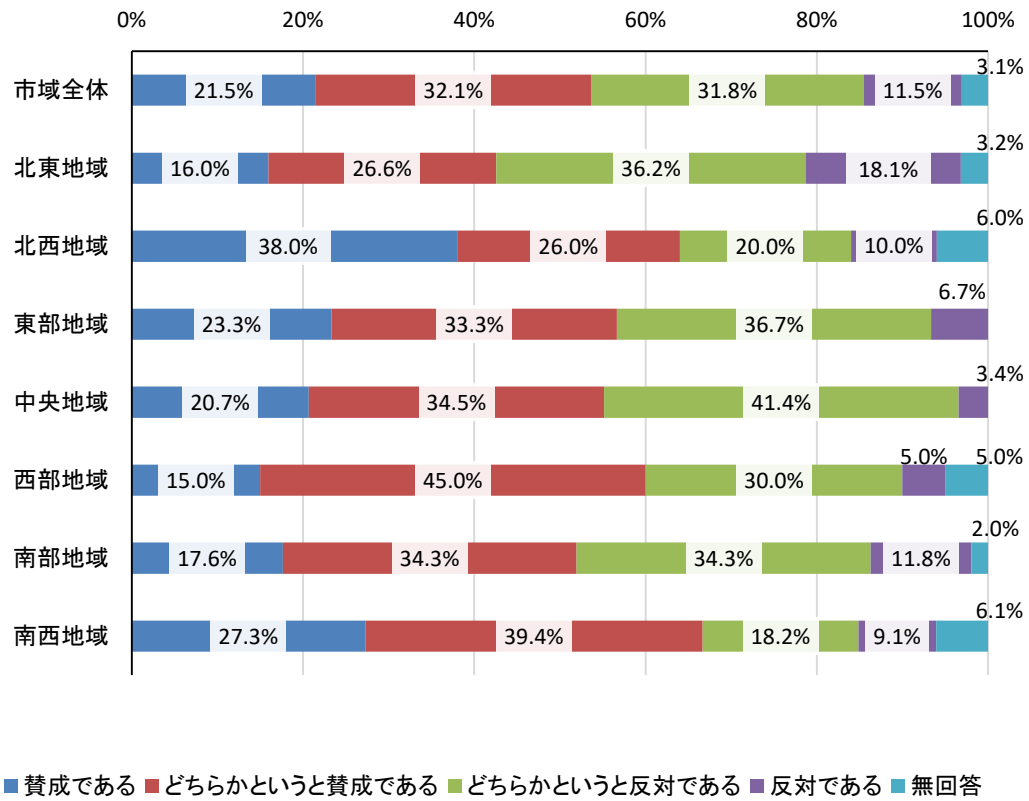


図 2-42 家庭ごみの個別回収について

家庭ごみの戸別収集について、「賛成である」は北西地域において最も高く、「どちらかという賛成である」と合わせた割合はほぼ全地域で半数を超えています。

一方で、北東地域では「どちらかという反対である」および「反対である」の合計が54%を占めており、また、「反対である」の割合も最も高く18%でした。

問 13 新座市が行う環境行政施策についてお伺いします。家庭ごみの発生・排出抑制及びごみ処理費用の負担の公平性の観点から「家庭ごみの有料化」が効果的であるといわれていますが、市民の皆様の理解と協力が必要となります。この家庭から出るごみの有料化についてどのようにお考えですか。あてはまるものを一つ選んで○で囲んでください。

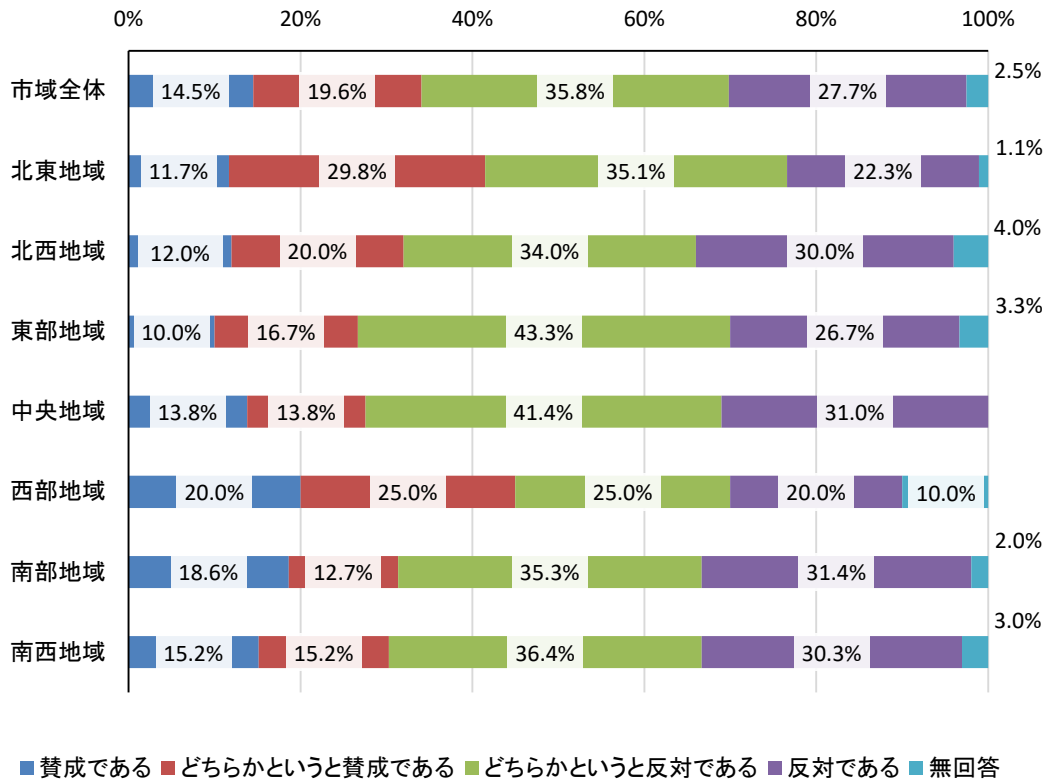


図 2-43 家庭ごみの有料化について

家庭ごみの有料化について、「賛成である」は西部地域において最も高く、「どちらかという賛成である」と合わせて45%でした。

一方で、「どちらかという反対である」および「反対である」の合計は、北西地域、東部地域、中央地域、南部地域、南西地域において60%以上であり、いずれの地域でも「賛成である」および「どちらかという賛成である」の合計を上回るまたは同値となりました。

市域全体においては、「賛成である」、「どちらかという賛成である」が30%程度にとどまり、反対意見が半分以上を占めています。

問 14 新座市が行う環境行政施策についてお伺いします。市が優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。あてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

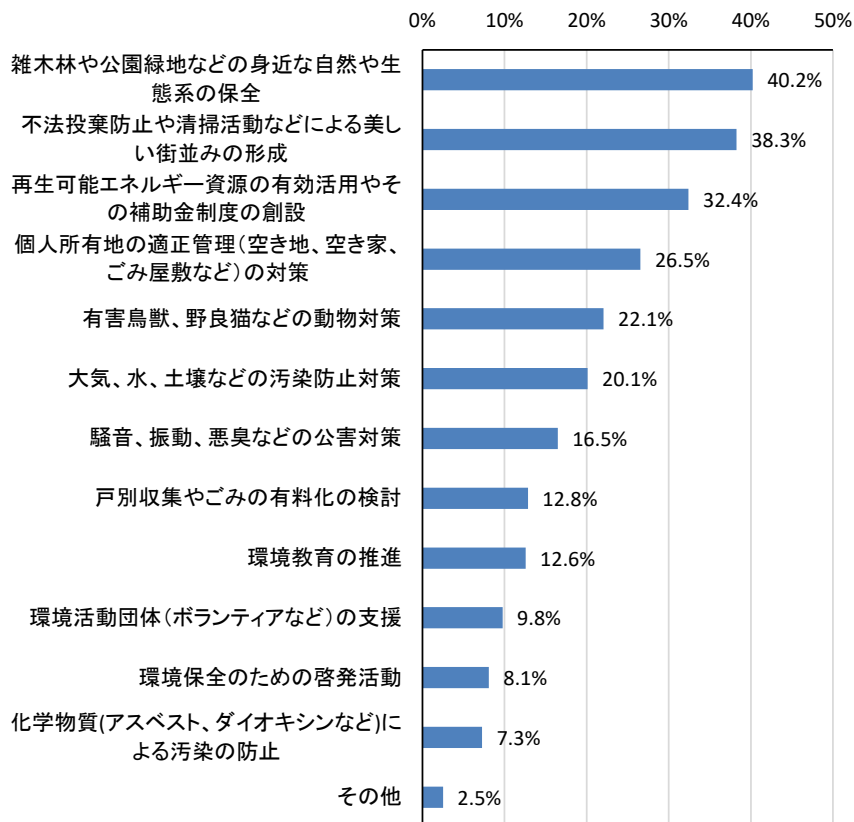


図 2-44 市が優先して取り組むべき施策

新座市で優先的に取り組むべき施策としては、「雑木林や公園緑地などの身近な自然や生態系の保全」の回答割合が 40%と最も高く、次いで「不法投棄防止や清掃活動などによる美しい街並みの形成」および「再生可能エネルギー資源の有効活用やその補助金制度の創設」がともに 30%以上でした。

また、「環境活動団体(ボランティアなど)の支援」、「環境保全のための啓発活動」、「化学物質(アスベスト、ダイオキシンなど)による汚染の防止」は回答割合が 10%未満に留まりました。

2018 年(平成 30 年)の新座市民意識調査では、市に望む環境に関する施策として、不法投棄防止や清掃活動などによる美しい街並みの形成 52.7%と最も高く、次いで「個人所有地の適正管理(空き地、空き家、ごみ屋敷)の対策」が 44.3%、「大気、水、土壌の汚染防止対策」が 41.0%となっていたことから、身近な自然環境や地球温暖化への意識が高まってきていることが考えられます。

さらに、前述の間 4 でも多くの方が地域環境において、最も緊急性がある問題等として、「地球温暖化に伴う自然災害」と回答していることから、この点からも地球温暖化に向けた取組を率先して行うことが必要であると考えられます。

問 15 平成 27 (2013) 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」をご存知ですか。最もあてはまる番号を 1 つ選んで○で囲んでください。

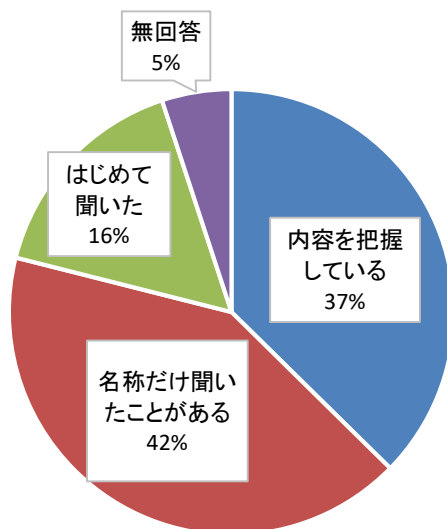


図 2-45 SDGs の認知度

SDGs の認知度は「名称だけ聞いたことがある」の回答割合が 42% と最も多く、次いで「内容を把握している」が 37%、「はじめて聞いた」が 16% でした。

名称の認識はある程度進んでいる状況ですが、内容については半数以上が認識していない状況にあります。

問 16 SDGs には下記の 17 の目標が定められていますが、市が取り組むべき目標は何だと思われますか。あてはまると思う番号を 3 つまで選んで○で囲んでください。

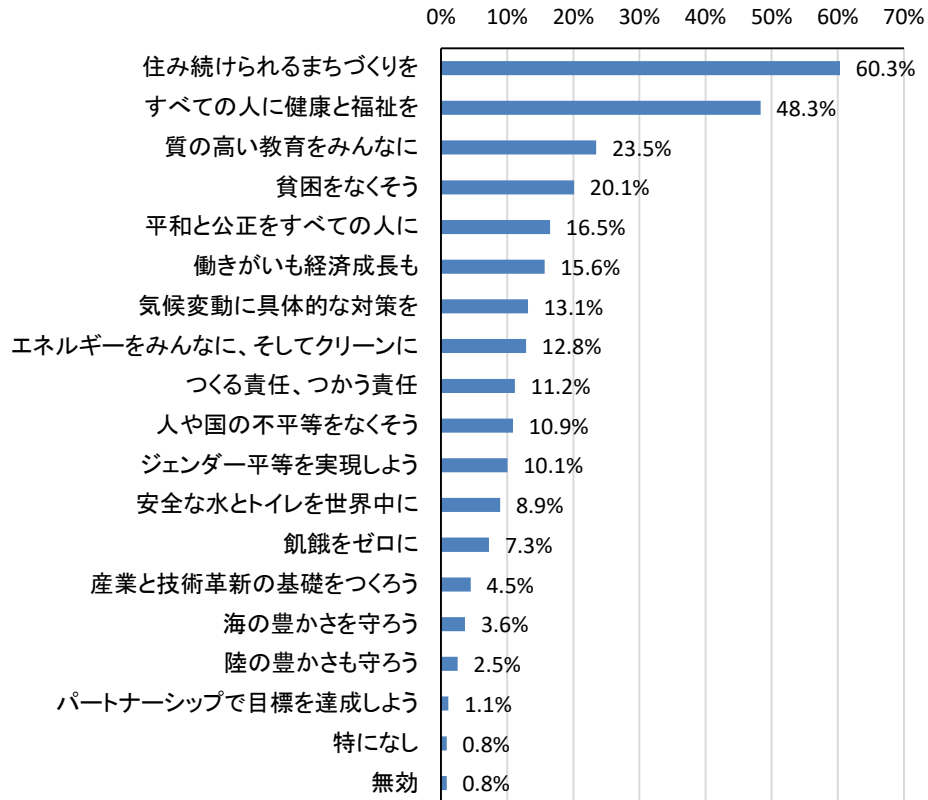


図 2-46 市が取り組むべき SDGs の目標

市が取り組むべき SDGs の目標として、「住み続けられるまちづくりを」の回答割合が 60%と最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が 48%、「質の高い教育をみんなに」が 24%でした。

一方で、「安全な水とトイレを世界中に」、「飢餓をゼロに」、「産業と技術革新の基礎をつくろう」、「海の豊かさを守ろう」、「陸の豊かさを守ろう」、「パートナーシップで目標を達成しよう」は 10%未満に留まりました。

問 17 気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。あなたはこの「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

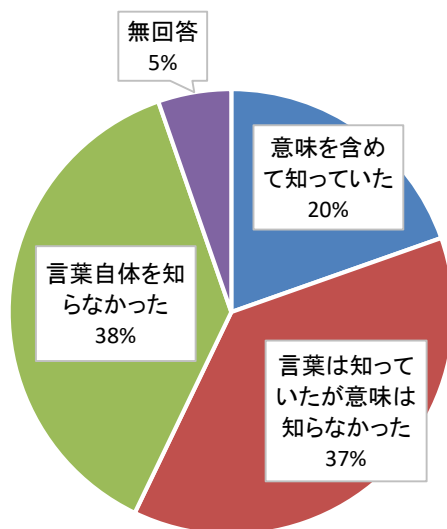


図 2-47 適応の認知度

適応の認知度は「言葉自体を知らなかった」の回答割合が 38%と最も多く、次いで「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 37%、「意味を含めて知っていた」が 20%でした。

名称の認識はある程度進んでいる状況ですが、内容については 70%以上が認識していない状況にあります。

問 18 新座市で現在、温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

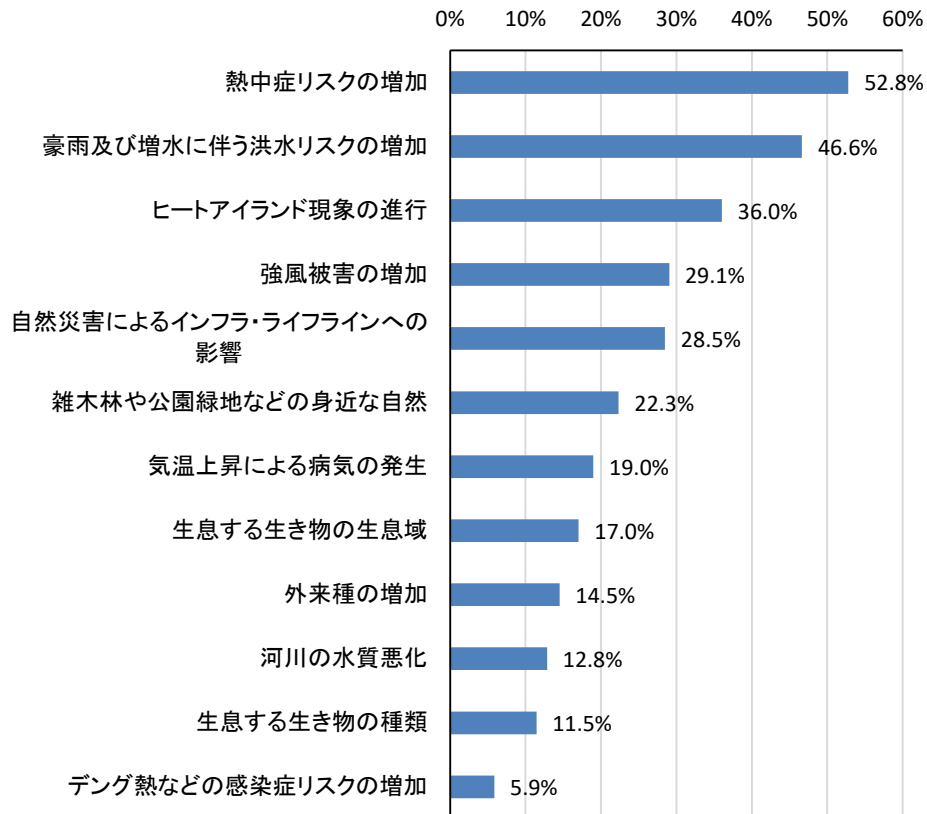


図 2-48 新座市における温暖化の影響

市民が感じている新座市における温暖化の影響として、「熱中症リスクの増加」の回答割合が 53%と最も多く、次いで「豪雨及び増水に伴う洪水リスクの増加」が 47%、「ヒートアイランド現象の進行」が 36%でした。生活を通じて直接的に体感しやすい、気温や天候に関連する項目の回答割合が高いといえます。

一方で、「デング熱などの感染症リスクの増加」は 6%に留まっています。

問 19 新座市で温暖化の影響を受け、これから重点的に対策していくべきと感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

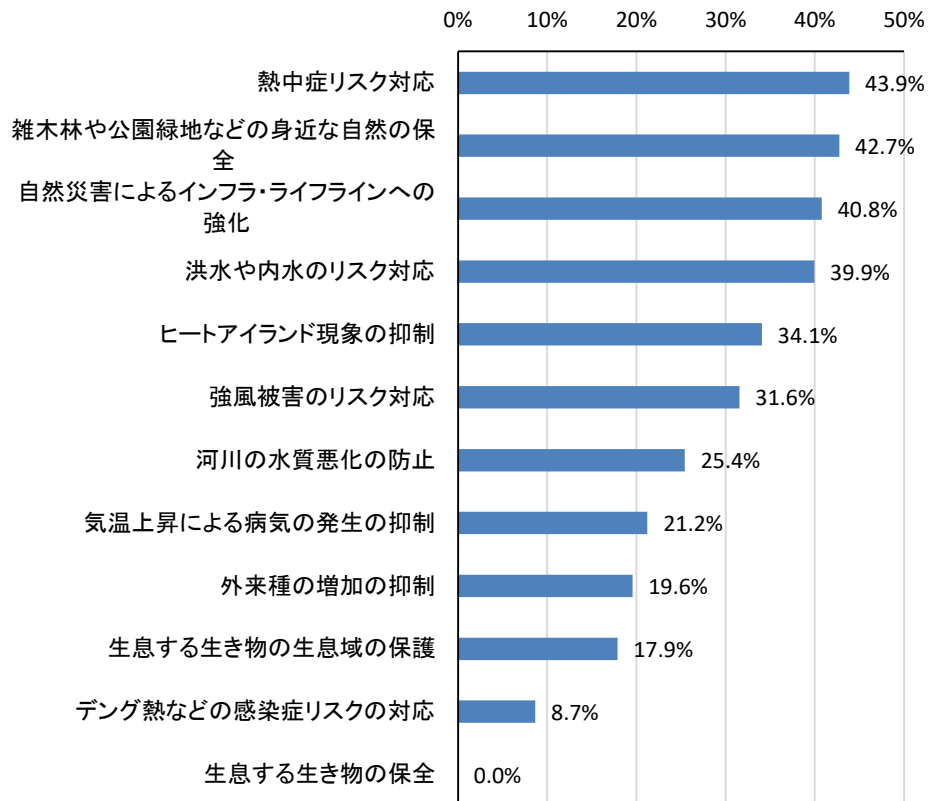


図 2-49 重点的に対策をしていくべき温暖化の影響

温暖化の影響を受け、重点的に対策していくべきものとして、「熱中症リスク対策」の回答割合が 44%と最も多く、次いで「雑木林や公園緑地など身近な自然の保全」が 43%、「自然災害によるインフラ・ライフラインへの強化」が 41%でした。生活への影響が大きく、かつ個人での対策が困難な項目の回答割合が高いといえます。

一方で、「デング熱などの感染症リスクの対応」、「生息する生き物の保全」は 10%未満に留まっています。

問 20 その他、新座市の環境づくりについてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

回答内容

項目	内容
ごみ 不法投棄・ ポイ捨て	歩きタバコをなくす条例をつくってほしいです。
	ゴミのポイ捨て、歩きたばこ、犬の糞尿、ゴミ出しルール無視、など市民のモラルの低さががっかりします。啓蒙に力を入れて欲しいです。
	河川含め公共の道路沿いのごみが気になる。
	川などにゴミを捨てる悪い行いもよく目にする。逆にゴミ拾いのボランティアをする若者たちもいて感心する。私も小さなことでも気づいたことをコツコツして環境保全に努めたい。
	犬の散歩の時に目につく、水はけの悪い道路。ゴミやタバコ等側溝のない様な場所で見かけるのでとても気になる。
戸別回収・ 有料化	私達夫婦は 70 才すぎで、ゴミ当番のかご・ネットの用意が大変である。ぜひ戸別収集にしてほしい。多少のコストがかかってもお願いしたい。住みたい町新座を目指してほしい。
	家庭ゴミの戸別収集をお願いしたい。高齢の人は集積場に運ぶのも大変だし集積場近くの人は悪臭や騒音で迷惑している。ゴミ袋を買うのは当たり前の中。緑豊かな自然に囲まれた新座市に越して来てから 40 年、変化が多い。住民の高齢化が進み自治会などもなかなか機能しづらい。役員のなり手がいない。若い方は入会しない人が多い。このアンケートで改めて身近な自然環境について考える機会を与えられた。できることを少しずつやっつけていこうと思う。
	空き家問題、ゴミ戸別収集は早めに対策して頂きたい。どちらも老人世帯が関係していると思う。老人一人暮らしの家庭だけでも戸別収集を早く実行するべきです。
	個別収集は難しい（判読困難）と思われます。カラスやネコにいたずらされず置ける、ゴミ箱やバケツの設置ができにくいからです。
	緑豊かな自然をこれからも守って下さい。ゴミの戸別回収は高齢者や障がい者など集積所までいけない人に限定すれば必要だと思います。
	ゴミは有料化すべき。買うところから環境問題への意識を高めたほうがいい。ゴミの入れ物の管理も大変だしカラスなどにやられて見苦しい。
	分別という良いことに取り組んでいるが、2 か月という間、高齢になると道具の片づけが苦痛。有料ごみ化・戸別収集の早期実現を願っている。
	家庭ごみ有料化は是非進めてもらいたい。個人負担が出たとしても自分のごみだから了解である。私の家はほぼ西東京市にある。西東京市は有料化で、見る限り玄関先に出しているごみ袋が小さい。お金がかかるとなると出すごみを最小限にするように考えるようです。敷地内に置くわけだから集積の時間・遅延は問題なし。カラス、猫問題は個人の責任。粗大ゴミの集積は今まで通り有料で続けてほしい。現在の掃除当番、リサイクルのかごが重い(10 年前先輩が嘆いていた通り)。
	是が非でも！ゴミは無料のまま出せ続けるようにお願いしたいです。
	ゴミ袋有料化には基本的に賛成。レジ袋が有料になってからわざわざゴミ袋をスーパー等で買って捨てているためもったいないと思っていた。しかし、あまり値段が高いと負担なので、スーパー等と同程度の価格で購入できるならうれしい。
ゴミ袋有料化は反対です。新座市は無料で、今後もする予定はないと電話してきいた時に言われたので西東京からひっこしました。	

項目	内容
ごみ	戸別回収・有料化 キメ細かいサービスを期待します。今の状況では、ゴミの有料化は考えたくありません。 ゴミの有料化は時代の流れで仕方ないと思う。
	ごみ収集・分別 ごみ出しに関して、リサイクル資源を集積所のネットに直接入れることに多少抵抗があります。新型コロナ感染の不安や、カラスなどにより荒らされたりしないか不安です。指定ゴミ袋を導入してもらえたら、スーパー、コンビニ等での買い物の際、わざわざゴミ出し用にビニール袋を余分に買わずに済み、上記のリサイクル資源ゴミも指定ゴミ袋のまま捨てられたら良いと思います。 燃えるゴミの収集について、地域によりゴミをグリーンネットをかぶせてあるが、時折カラス等がネットを外し食い散らかしているのを目にする。例えば、段ボールのような折り畳めて雨でも耐えられる素材で燃えるゴミを入れられる物があれば、食い散らかしを軽減できるかもしれない。ただカラスも利口なので、入口の蓋などカラスが開けづらい形式にした物を用意出来たら担当家庭の心配負担が減るかもと思う。 新座市ゴミ分別アプリがなくなるのが残念。 ゴミの分別について：リサイクル資源ゴミはどの程度汚れが残っていても大丈夫なのか？マヨネーズ等は普通にゴミに出すことになっているが、洗剤・シャンプー・柔軟剤等の詰め替え容器はリサイクルかゴミか。漂白剤の容器も洗って出すべきか迷う。漂白剤は触ったり飛び散ったりが嫌だし、かえって水道を使うことになる。リサイクル資源についてもっと細かいガイドラインがあったら良い。 日の出住宅では、土地をおかりして、ブロックでかこいを作り、53世帯のゴミを1か所に集めています。ですが、高れい者が増え、ゴミを出す事、ゴミ当番がこんなな方が、多くなって来ました。それと、借りている方とのやくそくで、土地を返す時には、「ブロックをくずしもとにもどす」という事で、15~20万円位を町内会費でストックしておく必要があり、会計さんに大きな不たんになっています。家の前まで、ゴミ回しゅうに来てもらえないか？1度ごそうだんにうかがおうと話しが出ています。 ゴミ捨て場に開閉式のゴミストッカーのようなボックスの設置を意見として記載させていただきます。理由としては付近のゴミ捨て場にてカラスがゴミを漁る事により周囲にゴミが散乱してしまっている光景が見受けられたため、カラス等の鳥獣がゴミを漁る事ができないような対策を講じた方が良いのではないかと思います。今回記載させていただきました。ご検討の程、よろしく願いいたします。 ゴミ当番がすぐ回ってきて負担。町内会も同様。 ゴミの集積所収集場所のそばの家が迷惑。 皆が同じ場所に出すと暇な人が中身を見て、もめ事が多い。 ゴミの収集日は仕事も私用も出掛けられない。片づけは何があっても避けられない。 体調が悪い時や入院してゴミを出さなくても当番がある負担です
交通	道路 新座市でごみの焼却炉があればいいなと思います。
	各自が汚さない、物を捨てない、を守ることが大切。 練馬区に住んでいた時はゴミの事も他の事も新座の様に細かい事は無く、でもキッチンと行われていたので今大変驚きながら住んでいる状態です。
	免許返納してから自転車（電動）での移動が多くなりました。自転車での安全安心のできる道路の整備がほしいです。 インフラについてひばりが丘一朝霞線の県道の歩道は狭くて危険！！歩道だけでも整備してほしい。 歩道の整備、自転車道の整備、煙草のポイ捨て

項目		内容
交通	道路	新座中央通りの歩道が工事の度につきはぎだらけになっていく。見た目も悪くどうにかしてほしい（二中辺り）。
		道路・歩道の環境整備をお願いしたい。特に登下校で使う歩道が狭くて危険である。
		信号のない横断歩道や狭い歩道など、子供達が安心して通れる交通環境づくりに取り組んでほしい。
		水道道路の歩道がつながるよう早期実現してほしい。交通（後1文字解読不能）公園信号のあたり。
		狭い道路をもう少し広く、子供の通学道・散歩等に車の行き交う道を怖々歩かなくていいような広さがあったほしい。
		道路、特に歩道の整備（ガタガタしていて子供や年配の方が転びやすいため！）
		道路の渋滞について：志木街道の志木から254に出る際渋滞がひどく、うちの前の道を抜け道としてスピードを出している車が多く怖い。254を右折するのがスムーズにいかないと車やラーメン屋の交差点も詰まる。改善されるとありがたい。
		道路の舗装には基準があるのでしょうか？以前からわだち掘れのある道路が、なかなか舗装されません。市役所の方も通行しているはずの道路なのに…。
	バス	東久留米志木線にバスの開通を力入れてもらいたいです。
花いっぱい運動などなつかしいですね。バスなどの便については、もう少し本数が多ければ利用しやすいと思います。やがて車をやめた時に外出が不便だから引っ越すとか、家から出ないということがないようであって欲しいです。		
東久留米駅から小山入り口方面のバス便増加をお願いします。		
緑	雑木林・畑	高橋コンクリートという工場のトラックが住宅街の狭い道を通るため、排気ガスが気になる。なみきの幼稚園などもあるので大通りの道を走ってほしい。
		新しい道路のせいで、住宅街に入ってくる車が多くなりスピードを出して走る車が多くあり、危険な状態が多くみられる車がある。住宅街のスピード規制強化をお願いしたい。
		ナイキを入ったところのクランクにカーブミラーが欲しい。
		雑木林などの木の剪定をやってほしい。高木の風での影響が怖い。落ち葉の清掃も必要。
		雑木林等自然を多く残してほしい
		ここ数年でかなりの畑や雑木林が消滅してしまいました。野火止の開拓農業（屋敷、畑地、雑木林からなる）の方式をどこかで残すことが必要だと思っています。
		新座市に住居を構え20数年になるが、周りの田や畑がどんどん建物や駐車場になり緑が減った。
		教育林が伐採され、コインパーキング、住宅になったと聞きます。市が所有の森林は自然のまま残して頂き、生態系の保全に努めて頂きたい。
		雑木林や畑がだいぶ減って来ましたが、残せる物はできるだけ残して緑の多い新座であってほしいと思っています。
新座に40年近く住んでいる。2月末～3月強風が吹くと畑の土で空が土色になる。以前は作物が植えてあったのでこのようにはならなかった。家が増えたとはいえまだ畑も多いので、農家にちゃんと作物を作ってもらい経営が成り立つようにしてもらいたい。市の発展を望んではいるが、武蔵野の面影が激減していることに心が痛む。		
緑地が多いので大事にしていきたい。河川の水質の悪化を防止する（川魚等を放流する等）		

項目	内容	
緑	公園	<p>公園の遊具の整備。</p> <p>新座市内（管轄）の公園の整備（草取り、伐採）を定期的に行って欲しい。</p> <p>公園がたくさんあり、きれいに保たれているので、子どもと遊びやすく助かります。</p> <p>以前名古屋市（転勤）に住んでいましたが、公園が多いことにびっくりしました。また、戸田市などもかなり多いようですが、新座市はほとんど見かけません。</p> <p>今後人口が減ると思われるので緑地をつぶしてまでの新しい道路はいらなと思う。道路を作るより公園や緑を増やしてほしい。</p>
	その他	<p>緑が少しでも、多く増えるといいかと思う。</p> <p>子どもが自然と触れ合えたり、自然の中で走り回ったり、ボールなども使って伸び伸び遊べる場所が必要だと思います。大人がウォーキングなどのできる環境も必要だと思います。私は田舎出身なので、どうしても自然の中で運動できる環境に目が行き、ボール使用不可の公園があることなどは目がいきます。住みやすさでは満足しているので、あとはプライベートの時間に住民が運動を取り入れるための場所作りがされたらなおさら嬉しい。</p> <p>緑をもっと増やして下さい。志木駅が新しくなった時、とてもがっかりしました。全く木が駅にない。木があれば夏も日かげがです。又、小学校や中学校の校庭にももっと木を増やして下さい。運動会などでも日かげができ、気温上昇をふせげます。校庭を芝生にするのも良いのではないのでしょうか。お願いします！</p> <p>妙音沢の入り口から緑地帯があるが、雑草は道路に伸び、住民が清掃したり草刈りをしていた。もっと整備をして景観的にもきれいにしたほうが良い。夏は虫（蚊やハエ）がたくさんいる。散歩コースとして利用しているがここ何年か雑草が伸び放題できれいな妙音沢とは言えない。せっかく妙音桜とか黒目川沿いに歩けるのに残念に思う。</p> <p>大木、古木の伐採、植え替え（台風の時危険）（古い木を切ったまま、何も植えられていない）</p> <p>緑を保全するのも大事ですが、緑を楽しむ人たちが新座市を訪ねる事も大事ではと思います。平林寺の周辺におしゃれなカフェがあったらいいねと思います。それから野火止用水沿いの木はもっと背の高い木をうえてください。シェード日影ができないと高齢者は訪ねても熱中症になってしまいます。</p>
	防災	<p>今後地球の温暖化により想定を超える災害が発生すると思う。よって電力を確保するため電柱をなくし無電柱化を進めてほしい</p> <p>無電柱化（何の電線か分からないくらい線がぐるぐる巻きで危ない）してほしい。電柱が多すぎる。</p> <p>電柱の地中化をお願いします。道路が広がる。災害で倒れ、道路をふさぐことを回避する。</p> <p>新座市は比較的自然災害の被害が少なく防災意識が低い様に思われます。何がおこるか予測する事もむずかしい</p> <p>この頃万々に備え市でも準備はしている事と思われませんが。</p> <p>一番は各個人ができる準備、例えば水・簡易トイレ等準備することが大事だと思います。</p> <p>市内馬場に勤務していますが、避難所が畑中公民館と聞いて不安を感じています。洪水のおそれがあるならば、早めに栄公民館の方へ上がった方が、安全ではないでしょうか？黒目川を、後や右に見ながら、畑中まで歩いて行く時間を考えると恐怖を感じます。</p>

項目	内容
大気	住まいに近い大木伸銅さんの工場北側の排煙が気になります。常時出ているようでどういう物が排出されているのか市の方で確認して広報していただきたいと希望します。
騒音・振動	栄公民館前、市場坂通り沿いが住居なのだが、車による振動がひどい。毎日ひっきりなしに家が揺れていてそのうち壊れるのではないかと思うほど。近隣の家も同様で、過去に署名を集め道路の補修工事をお願いしたと聞いているが、返答もないと聞いている。感覚では、栄公民館前の道路工事が何度かあったがそのたび振動が大きくなっているように感じる。工事後は道路に段差や波打ちが増えており、工事があるたび道路状態が悪くなり揺れもひどくなる。改善を強く希望する。
環境教育・協働	このようなアンケートを行なっていることで、環境問題への積極的な取り組みをされていると感じます。地球温暖化の気温上昇を1.5℃に抑えるために、できる限りの具体的な対策が必要と考えます。新座市としては、リサイクルマーケットなどは初めて知りましたが良い取り組みだと思います。市民への教育も推進し、一人一人が危機感を持って簡単に低コストでできることから取り組む流れが新座市から広がると良いと考えます。
	インターネットでの発信を
	環境問題を話し合う場に若い方の参加も検討していく必要性を感じる。
	環境保護団体の支援をもっと積極的に推進してもらいたい。
	樹木医、獣医等のアドバイザーの充実を。
	家族で、清掃のボランティアに参加しようと思っています。この辺でやっているかどうか調べた所、富士見市でのイベントしかその時はありませんでした。新座市でも、たくさん、ゴミ拾いなどのイベントを小学校や学校（判読不能）で呼び集めて、子供の頃から自然環境対策の意識や教育をしていけばと思っています。今は、海の清掃ボランティアしかしていませんが、この辺りでも、柳瀬川などもありますので、やっていただければ参加していきたいです。
その他	活気ある新座市に期待します。
	いろいろな市と交流しながら環境作りに取りくんで欲しい。（税金を無駄にしないような行動で）
	さらに住みやすい街であるよう向上してほしい。
	市民もできることを実践していくことが大切だと思う。ヒートアイランド現象は、世界的な問題だから、子供や孫たちが楽しく生きていけるように望んでいる。
	駅前のタナカ資材が歩道をふさいでいて迷惑です。火事のおそれもあるのでどうかしてほしいです。よろしくお願いします。
	パソコンから回答しようとしたら、長いURLを手打ちしなければならず、不便でした。市役所のページからリンクするとか、短縮URLを使う等、工夫できませんか。ようやく開いたページで回答しようとしたら、封筒の宛名の番号が必要とのこと。宛名は、とっくにシュレッダーにかけてしまっているため、適当な数字で回答します。
	近くの東久留米市を流れる黒目川を散歩し、カワセミやカモなどに癒されている。住まいが都県境で新座への思いが薄い感じがある。市内にも良い場所があると思うのだが。
	栗原に住んでいると新座市民としての恩恵がほぼない。
	住所が間違っって届いたので個人情報の管理に不安を感じた。返信用封筒の郵便番号も間違っていた。ダブルチェック等しっかりしてほしい。
	新座市長を新座市役所前や新座市役所の近所で見かける時があるが、鼻歌が上手。

項目	内容
その他	環境には関心があるが、私の考える環境とは少しかけ離れている気がする。
	アンケートが私の年齢には少し難しい気がする。分かるところだけ回答をしたが後は難しくできなかった。
	このアンケートの最初のページに書かれている「15 分程度で回答できます」は無理だと思う。
	この印刷物自体が資源？（解読不能）の動きと逆行しておりやめるべき。広報→ネットで十分。
	SDGs とは「宗教が人間のアヘンと同じように」環境問題解決のアヘンである。SDG s と唱えればビジネスになる、儲かるというのが本当の姿である。森を壊して太陽光発電ソーラーパネルの設置などが、最もおかしいものの一つである。本当の環境保護とは何であるか、きちっと議論されたい。
	調整地域に居住しているが住居近隣に工場等の建物および作業所が造成されている。どこまでが調整地域に（後 8 文字程解読不能）ですか。農地等所有者と所轄（後 2 文字解読不能）の不適切な関係はないのか。
	市内の発熱外来受付病院を増やしてほしい。
	新座駅の周辺に市役所の出張所が無く不便すぎる。市内の児童館がショボすぎる。朝霞市を見習って欲しいです。総合体育館周辺の開発があまりにも中途半歩でもったいない。
	新座は暮らしやすく良い所だと思う。

第3章 アンケート調査結果（事業者編）

問1 貴事業所についてお尋ねします。あてはまる番号を○で囲んでください。
（それぞれ1つ選択）

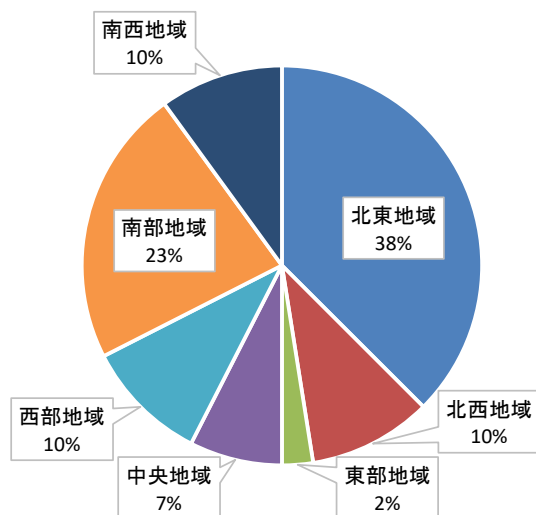


図 3-1 所在地

北東地域の回答割合が38%と最も多く、次いで南部地域が23%、北西地域、西部地域および南西地域がともに10%となっています。

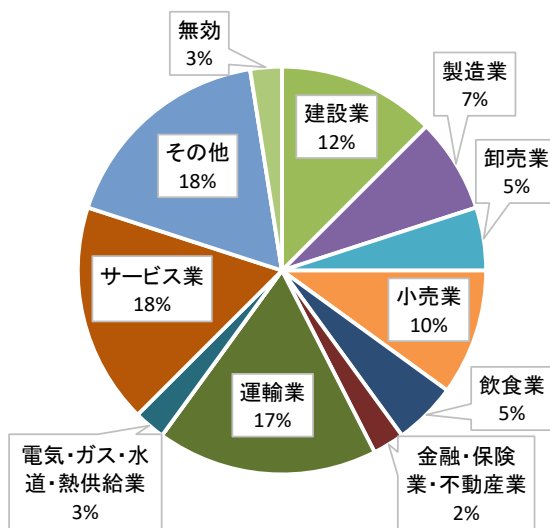


図 3-2 業種

サービス業およびその他の回答割合が18%と最も多く、次いで運輸業が17%、建設業が12%でした。

「その他」回答内容

回答内容		
廃棄物収集運搬業	大学	介護デイサービス
教育	薬局	学校

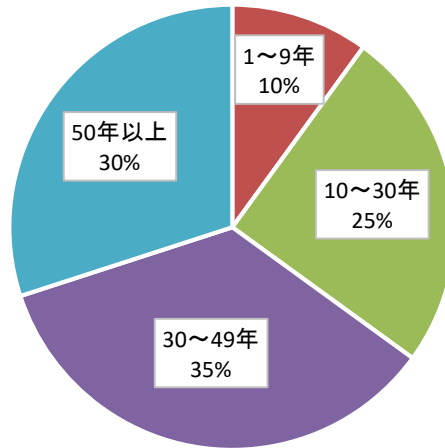


図 3-3 創業年数

30~49年の回答割合が35%と最も多く、次いで50年以上が30%、10~30年が25%でした。

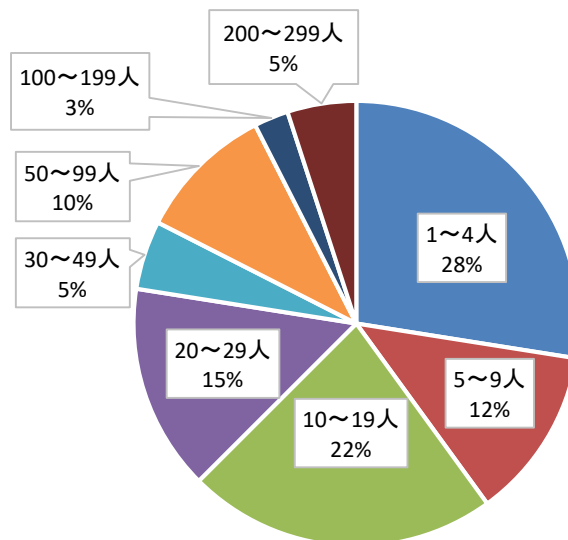


図 3-4 従業員数

1~4人の回答割合が28%と最も多く、次いで10~19人が22%、20~29人が15%でした。

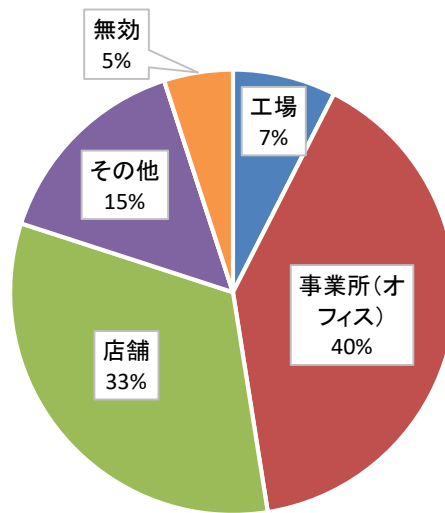


図 3-5 事業所形態

事業所（オフィス）の回答割合が 40%と最も多く、次いで店舗が 33%、その他が 15% でした。その他は倉庫や学校、病院が挙げられます。

「その他」回答内容

回答内容
倉庫
学校 (2 件)
病院

問2 貴事業所周辺の環境についてどのように感じていますか。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

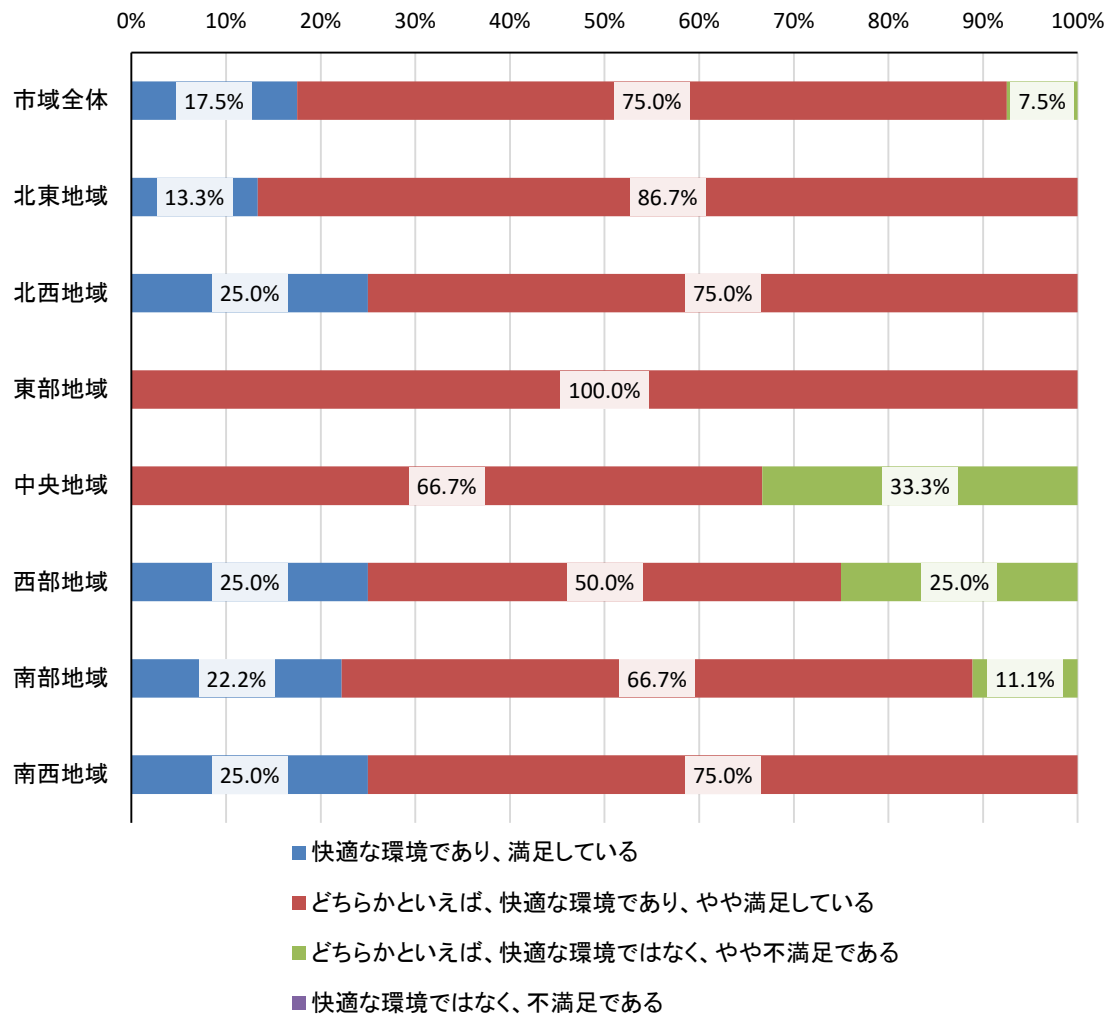


図3-6 環境に対する満足度

事業所周辺の環境に対する満足度は、北西地域、西部地域および南西地域において「快適な環境であり、満足している」の回答割合が25%と最も多く、そのうち北西地域および南西地域では「どちらかといえば、快適な環境であり、やや満足している」の回答割合と合わせて100%でした。

また、「快適な環境ではなく、やや不満である」の回答割合は中央地域が33%と最も多く、次いで西部地域が25%、南部地域が11%でした。

問3 貴事業所では、現在、どのような環境保全対策を実施していますか。次の中から該当するものをいくつでも選んで番号を○で囲んでください。

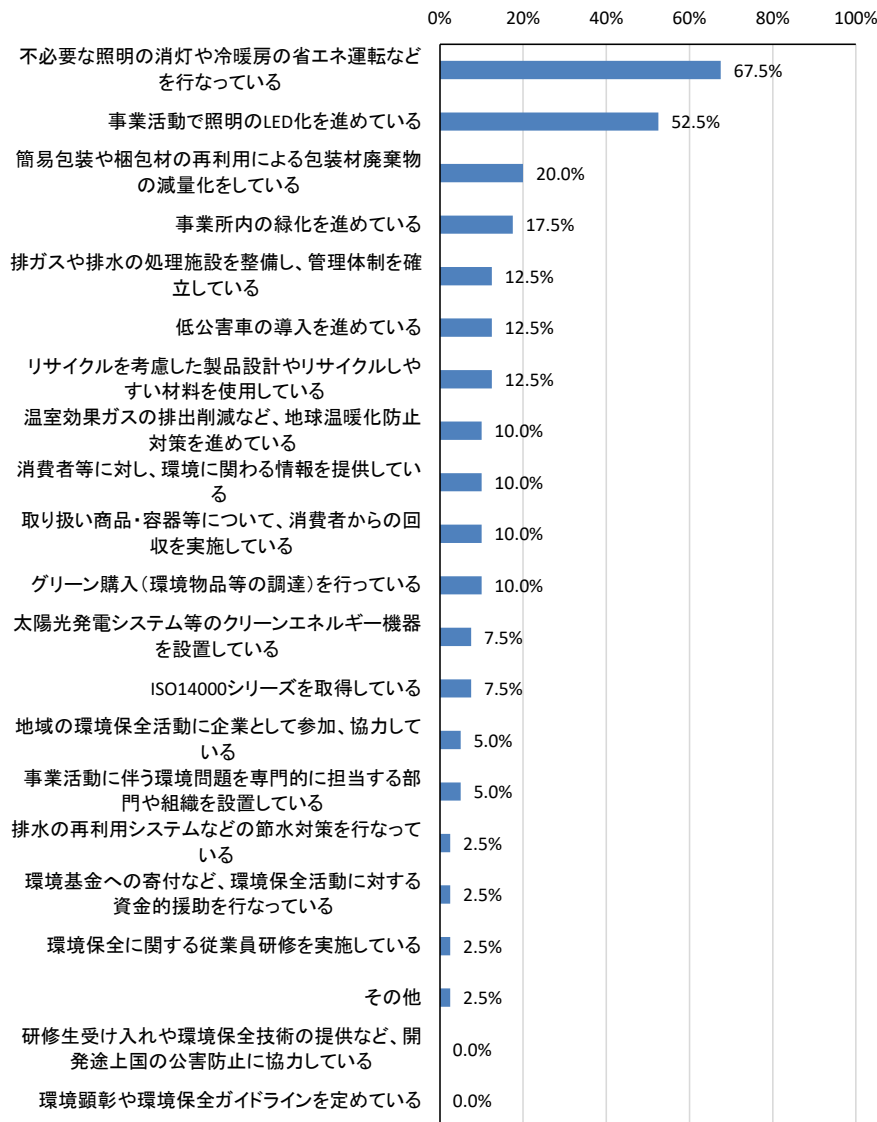


図 3-7 実施している環境保全対策

実施している環境保全対策として、「不必要な照明の消灯や冷暖房の省エネ運転などを行なっている」の回答割合が68%と最も多く、次いで「事業活動で照明のLED化を進めている」が53%、「簡易包装や梱包材の再利用による包装材廃棄物の減量化」が20%でした。

一方で、「研修生受け入れや環境保全技術の提供など、発展途上国の公害防止に協力している」および「環境顕彰や環境保全ガイドラインを定めている」は回答割合が0%であり、「排水の再利用システムなどの節水対策を行なっている」、「環境基金への寄付など、環境保全活動に対する資金的援助を行なっている」、「環境保全に関する従業員研修を実施している」、「その他」も3%未満に留まっています。

「その他」回答内容

回答内容
昨年より親会社との連携により環境対応プロジェクトを開始したところ

問4 貴事業所が環境保全対策を進めていくためには、どのようなことが障害になると思われますか。次の中から特に障害となるものを2つまで選んで番号を○で囲んでください。

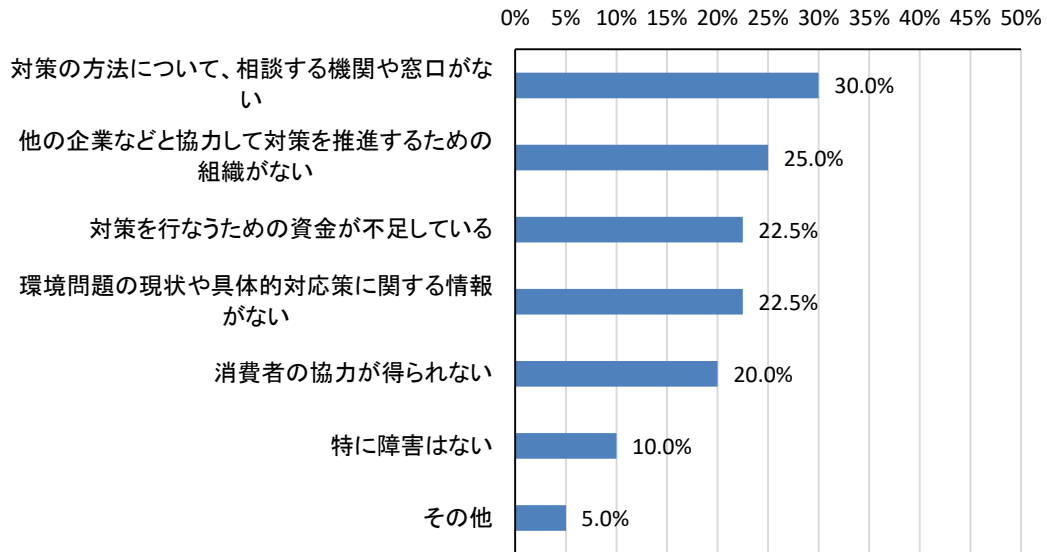


図 3-8 環境保全対策における障害

事業者が環境保全対策を進めていくにあたって、障害となっている事由としては、「対策の方法について、相談する機関や窓口がない」が30%と最も多く、次いで「他の企業などと協力して対策を推進するための組織がない」が25%、「対策を行なうための資金が不足している」及び「環境問題の現状や具体的対応策に関する情報がない」が23%となっています。

※ 回答のあった40事業者のうち、当該項目を事由として選択した割合

問5 市民・事業者の連携による自主的な環境づくり活動へ参加してみたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

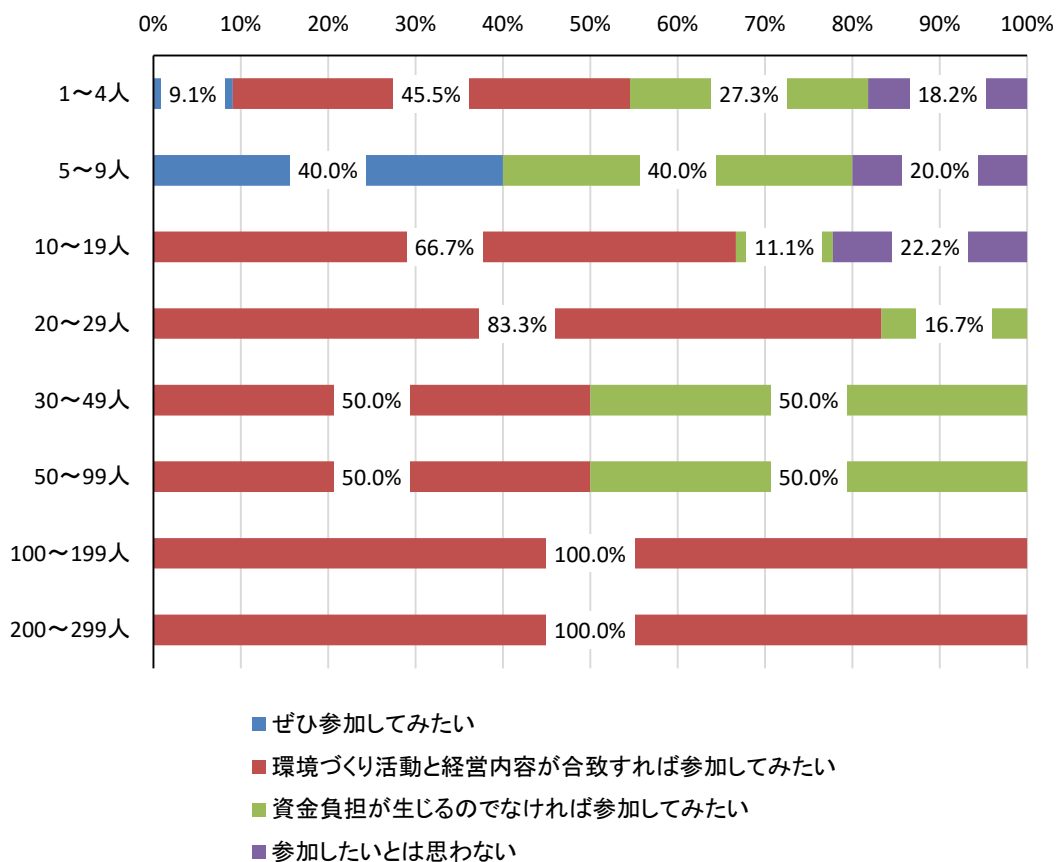


図 3-9 環境づくり活動への参加の意向

環境づくり活動への参加の意向について、「ぜひ参加してみたい」は 5～9 人規模での回答割合が 40%と最も多く、次いで 1～4 人規模で 9%でした。

「環境づくり活動と経営内容が合致すれば参加してみたい」は、10 人以上の規模でいずれも半数を超えており、100 人以上の規模では 100%となっています。

経営内容との合致や資金負担などの条件を満たせば、いずれの従業員規模でも活動への参加に前向きな事業所は多いと考えられます。

問6 問5で「参加したいとは思わない」と回答した事業者にお伺いします。それはどのような理由によるものですか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

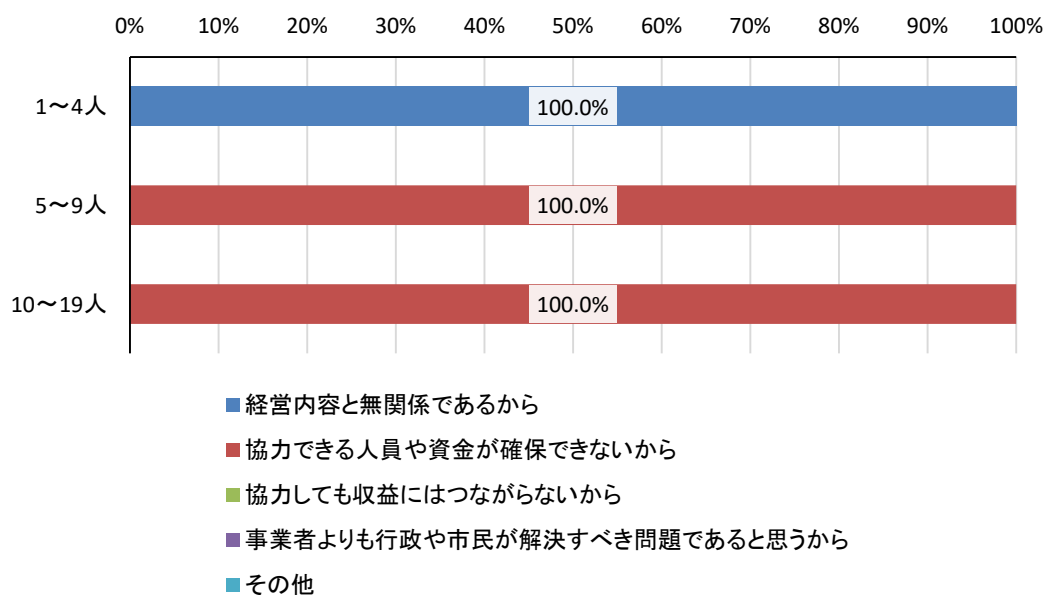


図 3-10 参加したいと思わない理由

環境づくり活動へ参加したいと思わない理由は、1～4人規模においては「経営内容と無関係であるから」、5人～9人および10～19人規模では「協力できる人員や資金が確保できないから」が100%でした。

問7 新座市が行う環境行政施策についてお伺いします。市が特に優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。あてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

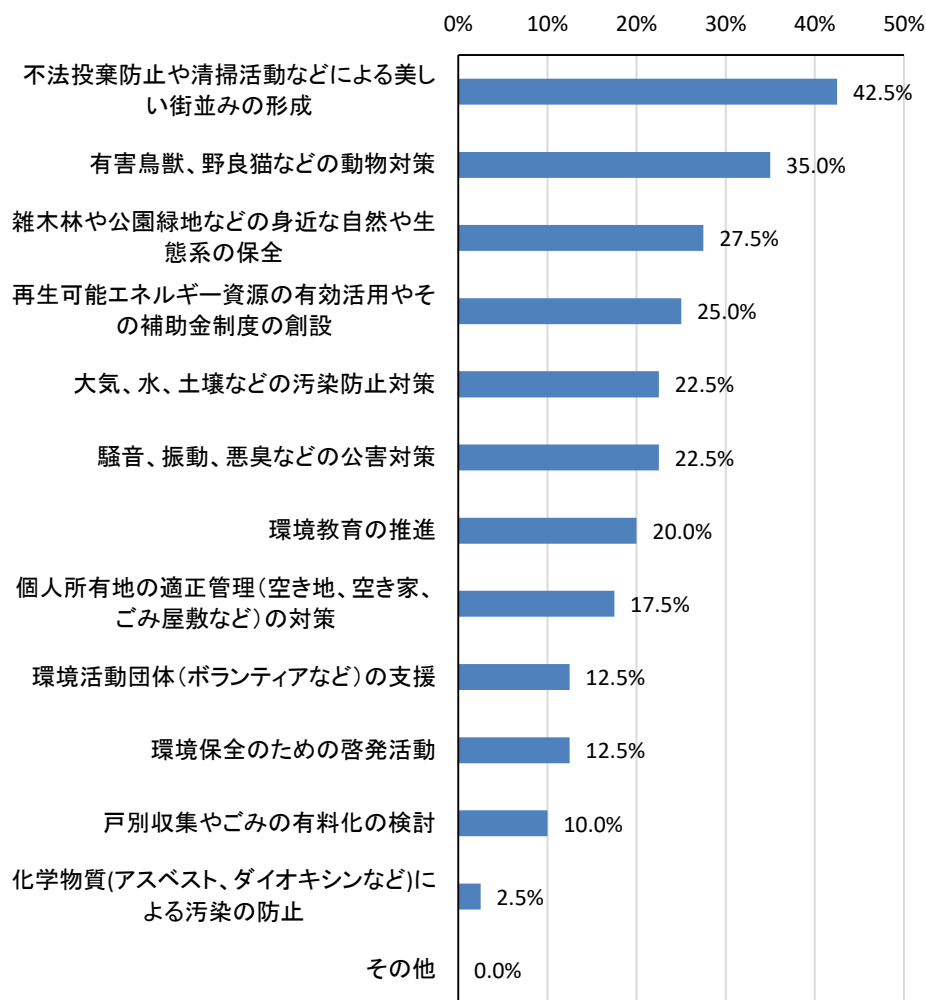


図 3-11 市が優先して取り組むべき施策

市が優先して取り組むべき施策として、「不法投棄防止や清掃活動による美しい街並みの形成」の回答割合が43%と最も多く、次いで「有害鳥獣、野良猫などの動物対策」が35%、「早期林や公園緑地などの身近な自然や生態系の保全」が28%でした。

当設問以外でも、ポイ捨てや動物により荒らされたごみ、糞の放置は課題として挙げられており、対策が必要と考えられます。

また、「戸別収集やごみ有料化の検討」、「化学物質（アスベスト、ダイオキシンなど）による汚染の防止」の回答割合は10%以下に留まりました。

問 8 環境事業等の情報提供はどの媒体で行うとわかりやすいですか。あてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

講習会や研修会

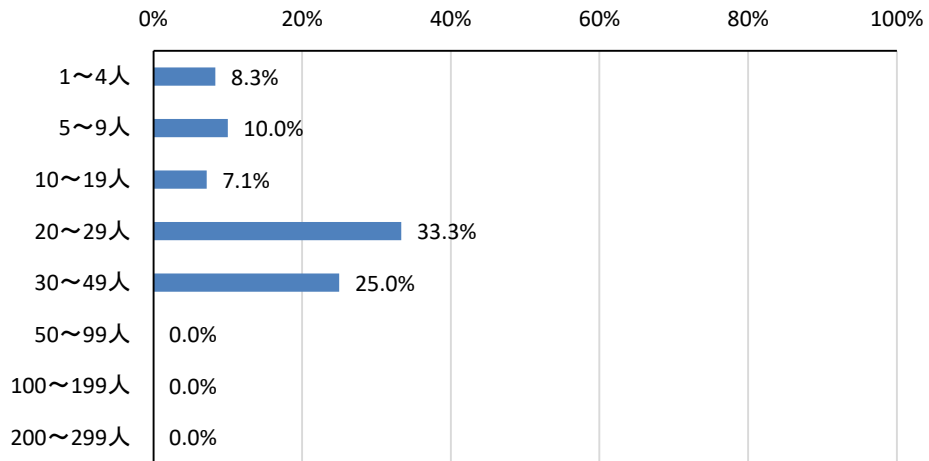


図 3-12 環境事業等の情報提供の媒体（講習会や研修会）

講習会や研修会の回答割合は、20~29人で33%と最も多く、次いで30~49人が25%、5~9人が10%でした。

一方で、50人以上の事業所での回答割合は0%でした。

地域活動を通じて

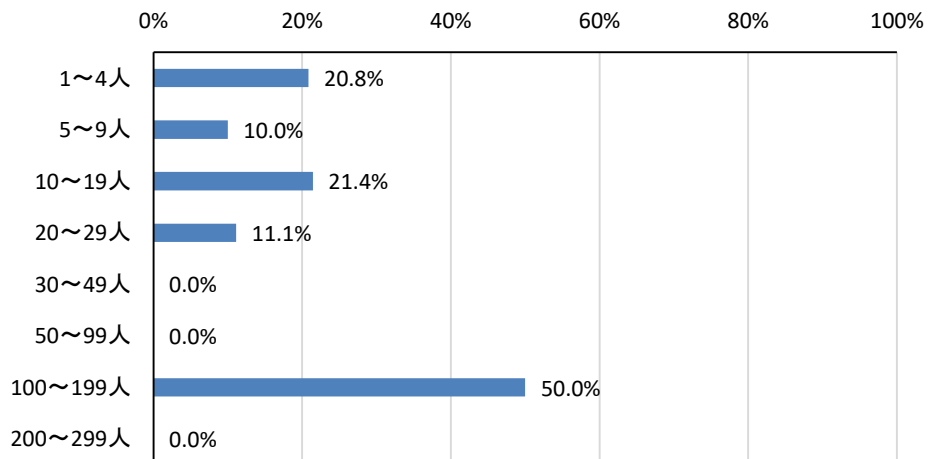


図 3-13 環境事業等の情報提供の媒体（地域活動を通じて）

地域活動を通じての回答割合は、100~199人で50%と最も多く、次いで10~19人が21%、1~4人が21%でした。

一方で、200~299人および30~99人規模の事業所での回答割合は0%でした。

市の広報誌

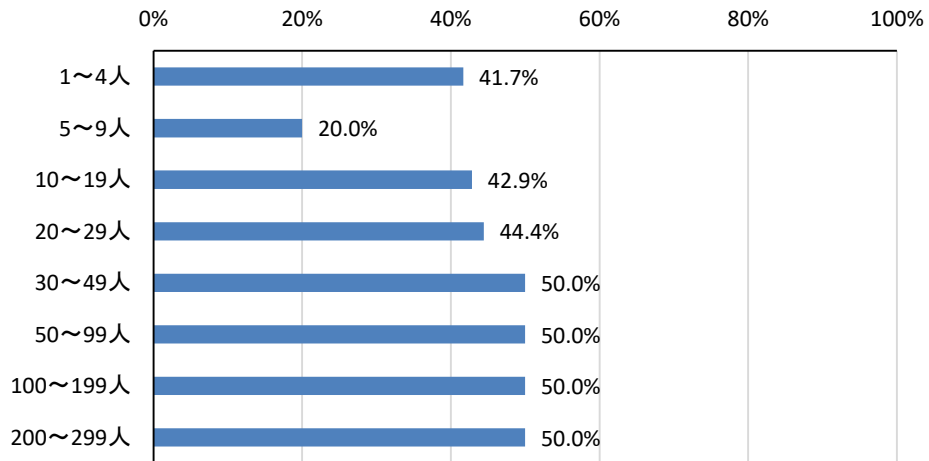


図 3-14 環境事業等の情報提供の媒体（市の広報誌）

市の広報誌の回答割合は、多くの事業所規模で 40～50% と高い回答割合でした。ただし、5～9 人規模の事業所での回答割合は 20% に留まります。

新聞・雑誌・書籍

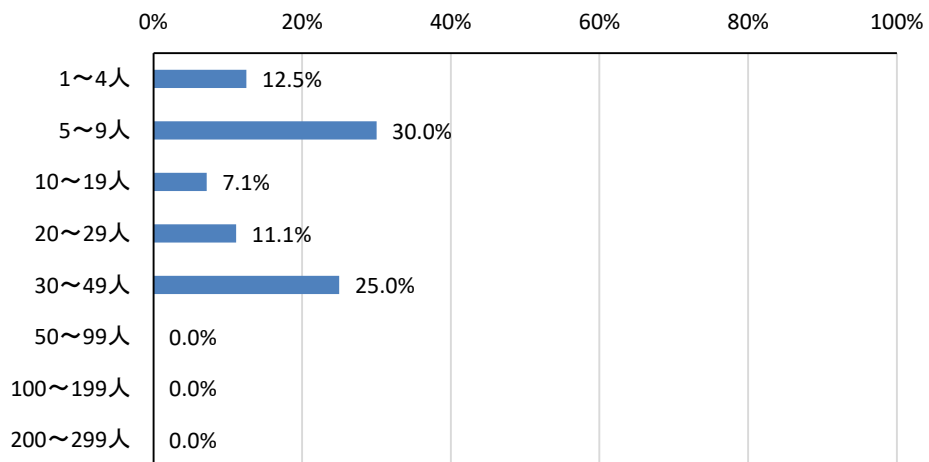


図 3-15 環境事業等の情報提供の媒体（新聞・雑誌・書籍）

新聞・雑誌・書籍の回答割合は、5～9 人で 30% と最も多く、次いで 30～49 人が 25%、1～4 人が 12.5% でした。

一方で、50 人以上の規模の事業所での回答割合は 0% でした。

テレビ・ラジオ

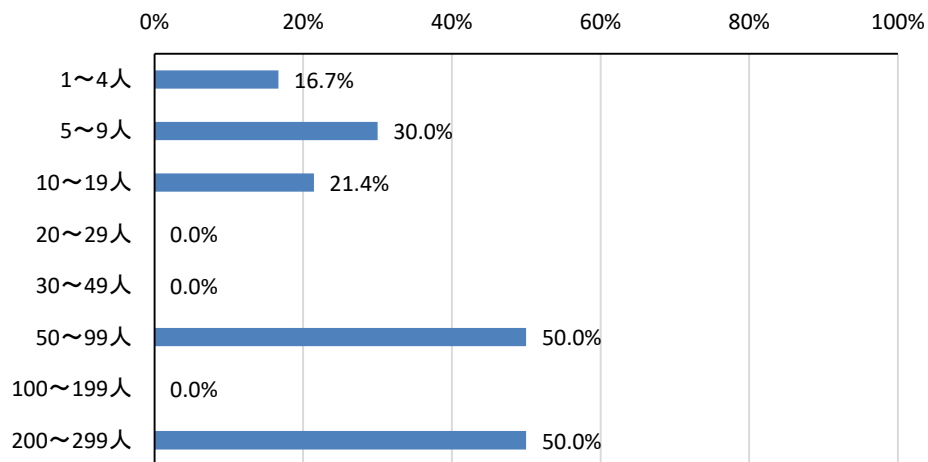


図 3-16 環境事業等の情報提供の媒体（テレビ・ラジオ）

テレビ・ラジオの回答割合は、200～299 人および 50～99 人で 50%と最も多く、次いで 5～9 人が 30%、10～19 人が 21%でした。

一方で、100～199 人および 20～49 人規模の事業所での回答割合は 0%でした。

インターネット・メール配信

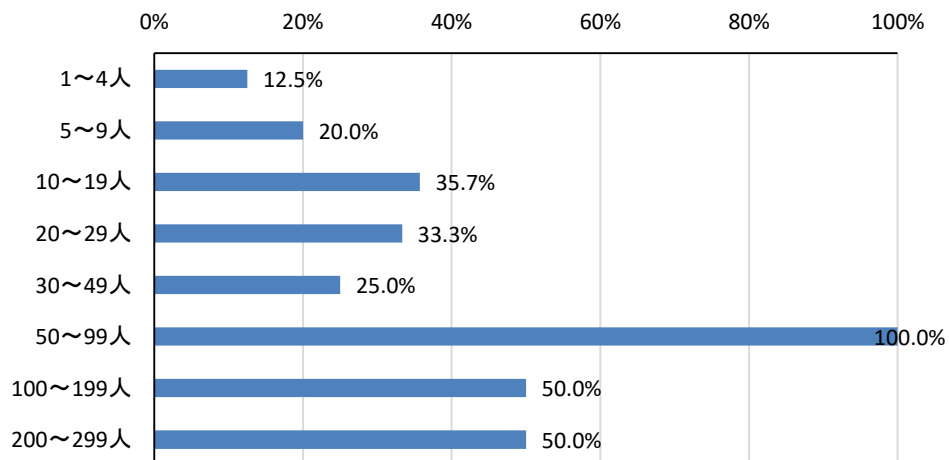


図 3-17 環境事業等の情報提供の媒体（インターネット・メール配信）

インターネット・メール配信の回答割合は、50～99 人で 100%と最も多く、次いで 100～199 人および 200～299 人が 50%でした。

回答割合が 10%台に留まるのは 1～4 人規模のみであり、ほかの媒体と比較して全体的に高い回答割合が得られました。

SNS (Twitter等)

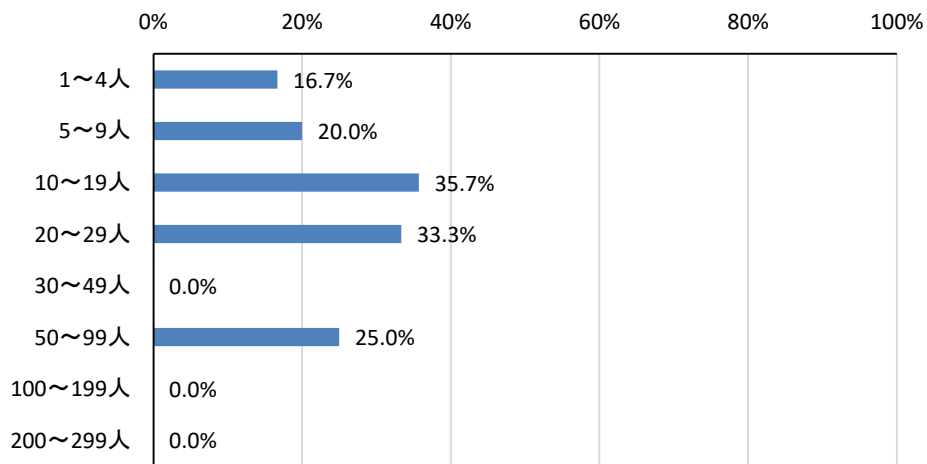


図 3-18 環境事業等の情報提供の媒体 (SNS (Twitter 等))

SNS (Twitter 等) の回答割合は、10～19 人で 36% と最も多く、次いで 20～29 人が 33%、50～99 人が 25% でした。

一方で、30～49 人および 100 人以上の規模の事業所での回答割合は 0% でした。

問 9 平成 27 (2015) 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」をご存知ですか。最もあてはまる番号を 1 つ選んで○で囲んでください。

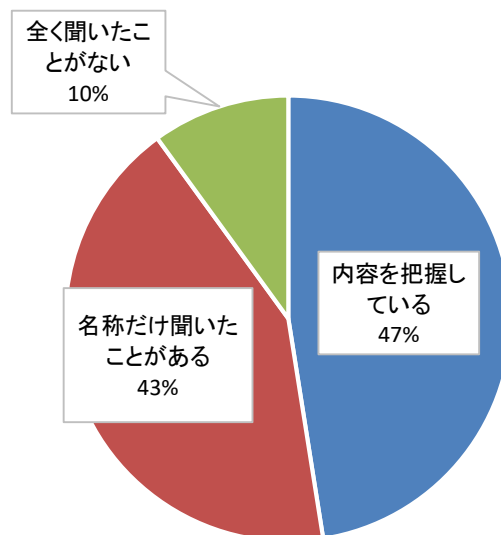


図 3-19 SDGs の認知度

SDGs の認知度は、「内容を把握している」の回答割合が 47% と最も多く、次いで「名称だけ聞いたことがある」が 43%、「全く聞いたことがない」が 10% でした。

名称の認識はある程度進んでいる状況ですが、内容については半数以上が認識していない状況にあります。

問 10 SDG s には下記の 17 の目標が定められていますが、市が取り組むべき目標は何だと思われますか。あてはまると思う番号を 3 つまで選んで○で囲んでください。

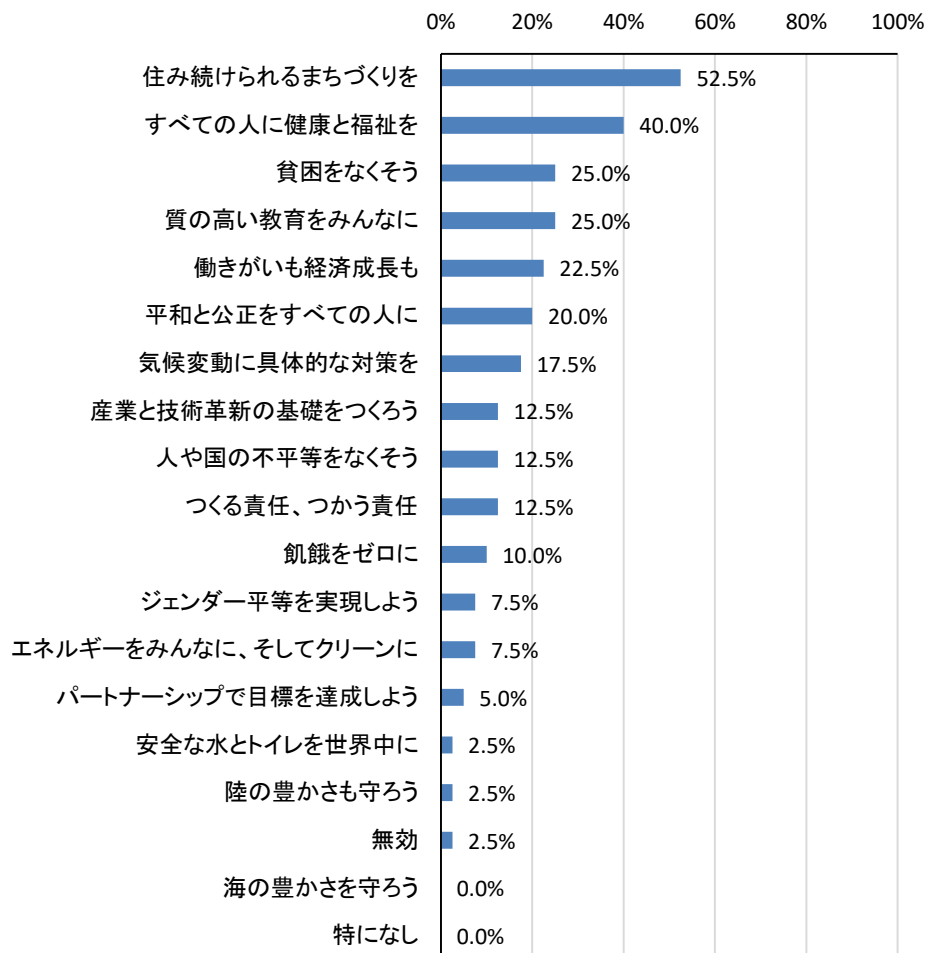


図 3-20 市が取り組むべき SDGs の目標

市が取り組むべき SDGs の目標は、「住み続けられるまちづくりを」の回答割合が 53% と最も多く、次いで「すべての人に健康と福祉を」が 40%、「貧困をなくそう」および「質の高い教育をみんなに」がともに 25% でした。

また、「安全な水とトイレを世界中に」、「陸の豊かさを守ろう」の回答割合は 3% であり、「海の豊かさを守ろう」は 0% でした。

問 11 気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。この「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

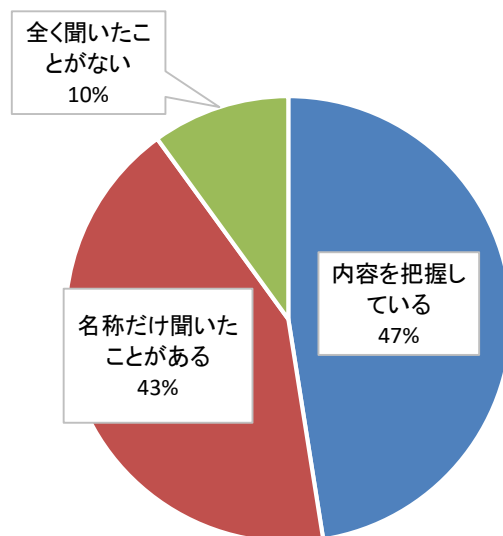


図 3-21 適応の認知度

適応の認知度は、「内容を把握している」の回答割合が47%と最も多く、次いで「名称だけ聞いたことがある」が43%、「全く聞いたことがない」が10%でした。

名称の認識はある程度進んでいる状況ですが、内容については半数以上が認識していない状況にあります。

問 12 新座市で現在、温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

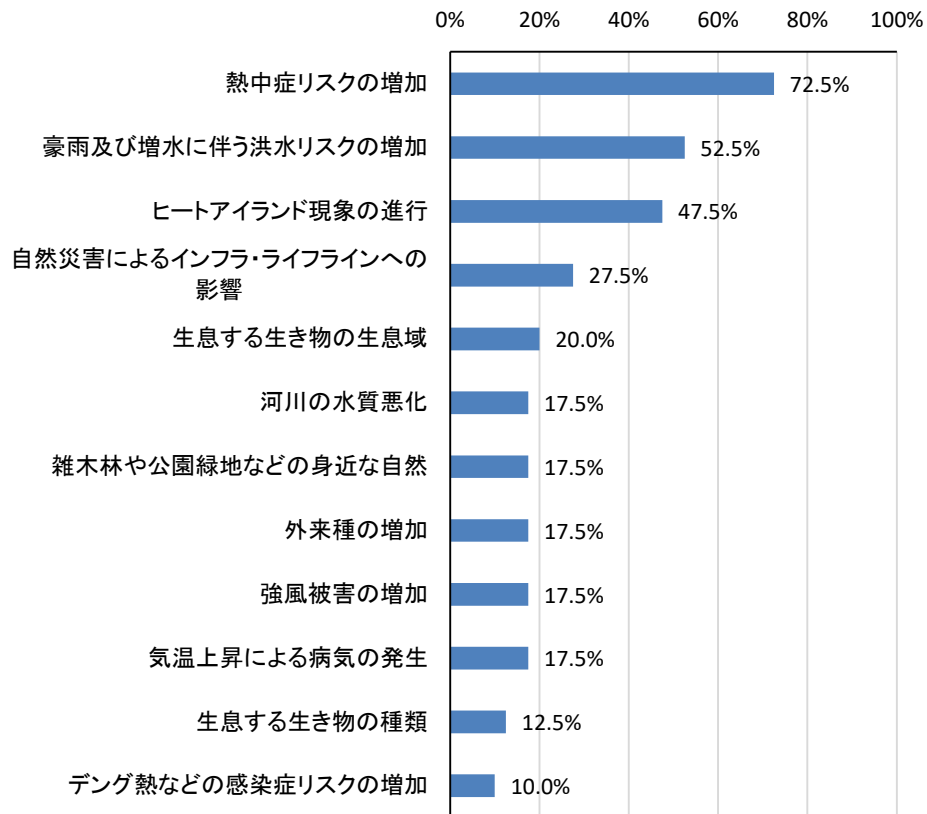


図 3-22 新座市における温暖化の影響

新座市における温暖化の影響は、「熱中症リスクの増加」の回答割合が 73%と最も多く、次いで「豪雨及び増水に伴う洪水リスクの増加」が 53%、「ヒートアイランド現象の進行」が 48%でした。生活を通じて直接的に体感しやすい、気温や天候に関連する項目の回答割合が高いといえます。

また、「生息する生き物の種類」、「デング熱などの感染症リスクの増加」は 15%未満に留まっています。

問 13 新座市で温暖化の影響を受け、これから重点的に対策していくべきと感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

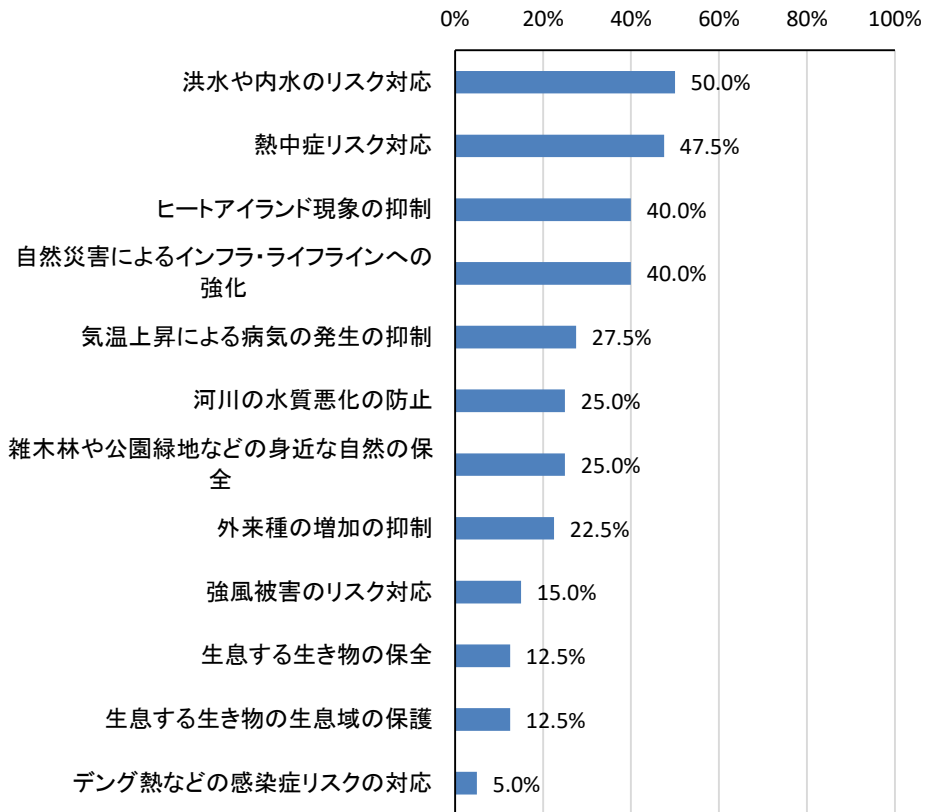


図 3-23 重点的に対策していくべき温暖化の影響

温暖化の影響を受け、重点的に対策していくべきものは、「洪水や内水のリスク対応」の回答割合が50%と最も多く、次いで「熱中症リスク対応」が48%、「ヒートアイランド現象の抑制」および「自然災害によるインフラ・ライフラインへの強化」がともに40%でした。生活への影響が大きく、かつ個人や事業所単位での対策が困難な項目の回答割合が高いといえます。

また、「生息する生き物の保全」および「生息する生き物の生息域の保護」、「デング熱などの感染症リスクの対応」は15%未満に留まっています。

問 14 貴事業所で環境に対する指針や取組に関して、先進的な取組等がございましたら、ご記入ください。また、差支えなければ、今後の市の取組として、貴事業所の取組を参考とするため、社名記載の御協力をお願いします。

回答内容

回答内容
<p>車輛の入れ替えで廃棄ガスの削減をしている。車輛買い替えの補助金があれば入荷台数を増やせる。</p> <p>一般社団法人が主催する CO₂削減を目的とするエコドライブ活動、グリーン・エコプロジェクトにより運転者教育と燃費データをデータベース化している。</p> <p>東京都貨物輸送評価制度で評価取得（一つ星）をしている。</p>

問 15 新座市の環境づくりについてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

回答内容

項目	内容
自然	雑木林の保全。
空き家	空き家で古く壊れそうな建物をなんとかしてほしい
ごみ	駅周辺のタバコのポイ捨てがひどい。喫煙所が全くないのも良くないと思う。ゴミ箱も…？
道路	JR 貨物ターミナルのところに信号機の設置を国に働き掛けて頂きたい。国道 254 線 JR 武蔵野線高架下あたり。
その他	<p>今できること、先々できること、やらなければならないこともっとわかりやすく皆様に共有してほしい。</p> <p>SDGs について市役所内でも「こんな取り組みをしています」という紹介をし、実践するとよいと思う。市役所内の文書管理をオンライン化したり、以前取り組んでいたと聞いた用紙リサイクルなど、ペーパーレスについて取り組み、環境を考えた活動をしてもらえるとうれしい。</p> <p>皆で協力し皆が住みやすい新座になってほしい。その為に市が中心になって市民の意識を高めて頂けたらと思う。</p>